

家庭用24時間風呂

Lc F
CKL-200SF
エルシー・エフ

物理ろ過システム

取扱説明書



型式：CKL-200SF

保証書別添付

- このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずよく読み読んだ後はいつでも見られるように大切に保管してください。
- 正しく使用されなかった場合の製品の故障・事故について、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
- ご使用前に本機の各部に異常のないことを必ず確認してください。また、各部に亀裂、破損、へこみ、曲がり、ゆるみなどの異常が生じた場合は使用しないでください。
- ご購入時には「保証書」「取扱説明書」を必ず受け取って大切に保管してください。お届けされていない場合は販売店にご請求ください。
- 工事方法を選定するときは設置工事業者とよく相談の上、お決めください。

もくじ

1. 安全のために必ずお守りください	1
2. 各部のなまえ	5
2-1. 本体	5
2-2. 入水ユニット	6
2-3. 出水ユニット	6
2-4. 設置台	7
2-5. 風呂ふた	7
2-6. 操作パネル	8
2-7. 漏電保護プラグ	9
2-8. 付属品	9
3. 設置のしかた	10
4. 使用前の準備	21
4-1. 浴槽に浴水をためる	21
4-2. ろ過フィルターをセットする	21
4-3. よび水を入れる	22
4-4. 本体に浴水清浄液Fを入れる／補給	23
4-5. 浴水清浄液Fの自動注入を設定する	24
5. 使用方法	25
5-1. 運転の開始と停止	25
5-2. エラー表示のリセット	25
5-3. 浴水温度を変更する	25
5-4. 保温	25
5-5. 省エネ運転	26
5-6. 浴水清浄液Fの自動注入と手動注入	28
5-7. 浴水清浄液Fの自動注入を停止する	28
5-8. 浴水清浄液Fの補給お知らせ	28
5-9. 洗浄タブレットを投入する	29
5-10. 気泡水流	30
6. 点検・その他	31
6-1. 日常の点検	31
6-2. 日常のお手入れ	31
6-3. 消耗品について	31
6-4. ろ過フィルターの交換	32
6-5. トップフィルターの洗浄	33
6-6. 配管洗浄（洗浄手順）（すすぎ手順）	34
6-7. 長期間使用しないとき	36
6-8. 安心点検のお知らせについて	36
7. エラー表示	37
8. おかしいと思ったら	38
9. よくあるご質問（FAQ）	40
10. 保証とアフターサービス	42
11. 仕様	43

1. 安全のために必ずお守りください

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。

絵表示の意味

	 記号は禁止の行為を示しています。 左図のように図の中や近傍に具体的な禁止内容を描いて示します。 (左図は分解禁止を意味しています)
	 記号は強制または禁止する行為を示しています。 左図のように図の中や近傍に具体的な禁止内容を描いて示します。 (左図は必ずアース線を接続する意味を示しています)

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

設置および移設工事について

- ご自分で設置工事および移設工事をしないでください。工事に不備があると事故の原因になります。
(設置工事及び移設工事は販売店にご依頼ください)
- アース工事がされていること。アースが接続されていないと感電の原因になります。
アース工事は電気工事士の有資格者が行ってください。法令によりD種接地工事が義務づけられています。
- ポリエステル系人工大理石浴槽など一部の浴槽には、浴水を長時間ためて継続使用すると浴槽表面にふくれ、荒れ、変色が発生する場合があります。

異常時

- 使用中に異臭がする等の異常を感じたときは、運転を停止して漏電保護プラグを抜いてください。
(異常のまま運転を続けると、感電、火災、故障の原因になります)

分解禁止

- 本製品の分解、改造はしないでください。
(故障や誤作動の原因になります)
- 電源コードを途中で切断したり、継ぎ足したりしないでください。
(断線や接触不良などにより、感電、火災、故障の原因になります)

使用上

- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
誤った取り扱いをすると人身事故や、家財の損害に結びつく恐れがあります。
- 入浴中にフィルターセットを取り外さないでください。
- 入水口、ジェットノズル、浴水清浄液Fの出口をふさいだり、手や足などを入れたりしないでください。
- 入水口、ジェットノズル付近には潜らないでください(特に子どもには注意してください)。
- 50℃以上の熱湯は使用しないでください。
- 入浴以外の目的で使用しないでください。
- 本製品の使用中は1日中浴槽に水が満たされています。使用しないときは浴槽に風呂ふたをし、子どもの転落にくれぐれもご注意ください。
- 長い髪の毛はたばねるなどし、入水口に髪の毛が吸い込まれないよう注意してください。
- 入水・出水ユニットに接続しているホースを外さないでください。
- 浴槽内のホース部分は固定しないでください。
- 浴槽の金属部にステンレス製の部品以外使用しないでください。排水口やチェーンなどの金属部は、水質によりメッキがはがれて錆びることがあります。

1. 安全のために必ずお守りください

警告

浴水清浄液Fについて

- 浴水清浄液Fの原液と塩素系の洗剤をまぜるとコロイドや有害な塩素ガスが出て危険です。
- 他の塩素系薬剤、次亜塩素酸ソーダ、次亜塩素酸カルシウム、二酸化塩素等との直接混合での使用は絶対に避けてください。急激な塩素ガスが発生します。
- 酸、アルカリ、脱塩素剤（チオ硫酸ソーダ、亜硫酸ソーダ）、油脂類、その他可燃物と直接ふれないようにしてください。
- 浴水清浄液Fを使用して肌に合わないときは使用を中止して医師に相談してください。
- 直接、目や口に入らないように注意してください。入った場合は流水で十分洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 浴槽の材質によっては浴槽が変色する場合があります。
- 本製品の専用品です。他の用途に使わないでください。
- 洗剤等と混ぜて使わないでください。
- 保管するときは、幼児の手の届く場所には置かないでください。



警告

洗浄タブレットについて **塩素系 まぜるな 危険！**

- 酸性タイプの製品といっしょに使う（まぜる）と塩素ガスが発生して危険です。
- 洗浄タブレットを投入した浴水にイオウ系の入浴剤を入れると、硫化水素や塩素ガスが発生して危険です。おやめください。
- 浴水清浄液Fの原液とまぜると塩素ガスが発生して危険です。
- 24時間風呂本体の清浄液タンクとろ過タンクには入れないでください。
- こどもの手にふれないようにする。
- 液が眼に入ったら、すぐに水で洗う。
- 必ず換気をよくして使用する。



注意

洗浄タブレットについて

使用上の注意

- 用途以外には使用しないでください。
- 高温、多湿や直射日光の当たる所で保管しない。
- 洗浄タブレットを投入した浴水を洗濯水に使用しないでください。色物の色が漂白される恐れがあります。

応急処置

- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息せること。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当を受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

廃棄

- 内容物、容器は都道府県条例および区市町村の規則に従って廃棄すること。



注意

用途

- 本製品は浴水の清浄、保温以外の目的に使用しないでください。また、浴水は飲用等の入浴以外の目的には使用しないでください。
- 本製品は一般家庭専用で、ろ過能力は入浴人数標準3～5人を基準とし、浴槽容量は最大300リットルです。
- 多人数で使用した後は清浄液スイッチを押して浴水清浄液Fを追加注入してください。
- 使用する水は水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。
- ペットなど、動物を浴水に入れないでください。また、それらと一緒に入浴しないでください。

1. 安全のために必ずお守りください

⚠ 注意

漏電保護プラグと電源コード

- 漏電保護プラグはコンセントにしっかり差し込んでください。
- 濡れた手で漏電保護プラグに触れないでください。
- 漏電保護プラグに水をかけないでください。
- 漏電保護プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
- 電源コードをたばねたり、無理に曲げたりドアなどに挟んで使用しないでください。
- (断線や発熱で事故、故障の原因になります)
- 漏電保護プラグと電源コードが破損および故障した場合の交換修理は、危険を防止するため電気工事士有資格者に依頼してください。

雷のとき

- 雷のときは早めに運転を停止して漏電保護プラグを抜いておいてください。
- 雷のときはなるべく本体に触れないでください。

⚠ 注意

入浴時

- 本体に表示される浴水温度は目安ですので実際の温度と異なる場合があります。
- 入浴時には必ず湯加減を確かめてから入浴してください。
- 入浴するときはかけ湯をし、身体が汚れている場合はよく洗ってから入浴してください。
- 浴槽にタオルを入れないでください。タオルが入水口に詰まり、故障の原因となることがあります。
- 浴槽のお湯は飲まないでください。
- 体に傷があるときは、傷口を浴槽内に浸けないでください。
- 入浴中はフィルターセットを取り外さないでください。

点検・お手入れ

- 本製品の点検・お手入れは必ず定期的に行ってください。
- トップフィルターは毎日洗浄してください。
- トップフィルターが傷んでいたら交換してください。
- 浴水の交換は1週間に1度行ってください。浴水を交換するときは浴槽の掃除も行ってください。
- 配管の洗浄は6か月に1度、専用洗剤で行うことをお勧めします。同時に浴槽の掃除もしてください。
- 循環風呂釜のパイプは市販の風呂釜洗浄剤でこまめに掃除してください。なお、風呂釜や浴槽の掃除のときは本製品の運転を停止し、浴水を抜いてから行ってください。

お願い

長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときは、清浄液タンクから浴水清浄液Fを取り除き、ろ過フィルター・トップフィルターを洗浄し、配管洗浄を行ってからできるだけ内部を乾燥させた後、保管してください。
(＜清浄液タンクのすすぎ方＞ p. 36参照)

浴水の清浄促進のために

- 一度に多数の方が入浴された場合は、浴水が濁ることがありますので、清浄液スイッチを押して追加点滴してください。それでも浴水の濁りが治らない場合は浴水を入れ替えてください。
- 身体に付いた石けんやシャンプーなどは浴水の濁りの原因となりますので、よく洗い流してください。
- 塗り薬や薬を常時服用されている方やアトピー性皮膚炎の方などが入浴する場合、トップフィルターを頻繁に洗浄してください。

洗剤、入浴剤の使用

- 浴槽内でシャンプー、洗剤を使用しないでください。
- 入浴剤（果物・薬草・温泉水）等を使用するときは本製品の運転を停止した状態でお使いください。
運転を再開するときは入浴剤が入った浴水をすべて捨て、新しい浴水に入れ替えてから運転を再開してください。

付属品

- 付属品は本製品指定以外のものは使用しないでください。

1. 安全のために必ずお守りください

【設置工事のご注意】

警告

設置について

- ポリエステル系人工大理石浴槽など、一部の浴槽には浴水を長時間ためて継続使用すると、浴槽表面にふくれ、荒れ、変色が発生する場合があります。
- 施工方法（設置場所・穴開け場所等）については事前にお客様とご相談の上、決定してください。
- 本機は電気工事が必要です。電気工事士の資格者（第二種以上）が施工してください。
（工事に不備があると感電や火災の原因になることがあります）
- 改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

設置条件

- 家庭用の浴室内に設置してください（本機は浴槽コーナー設置タイプです）。
- 水漏れがあっても支障のない場所に設置してください。
- シャワー等の水が直接かからない場所に設置してください。
- 水平で安定した場所に設置してください。
- 浸水の恐れのある場所には設置しないでください。
- 落下物の恐れのある場所には設置しないでください。
- 浴槽の容量は最大300リットルまでです。

電源について

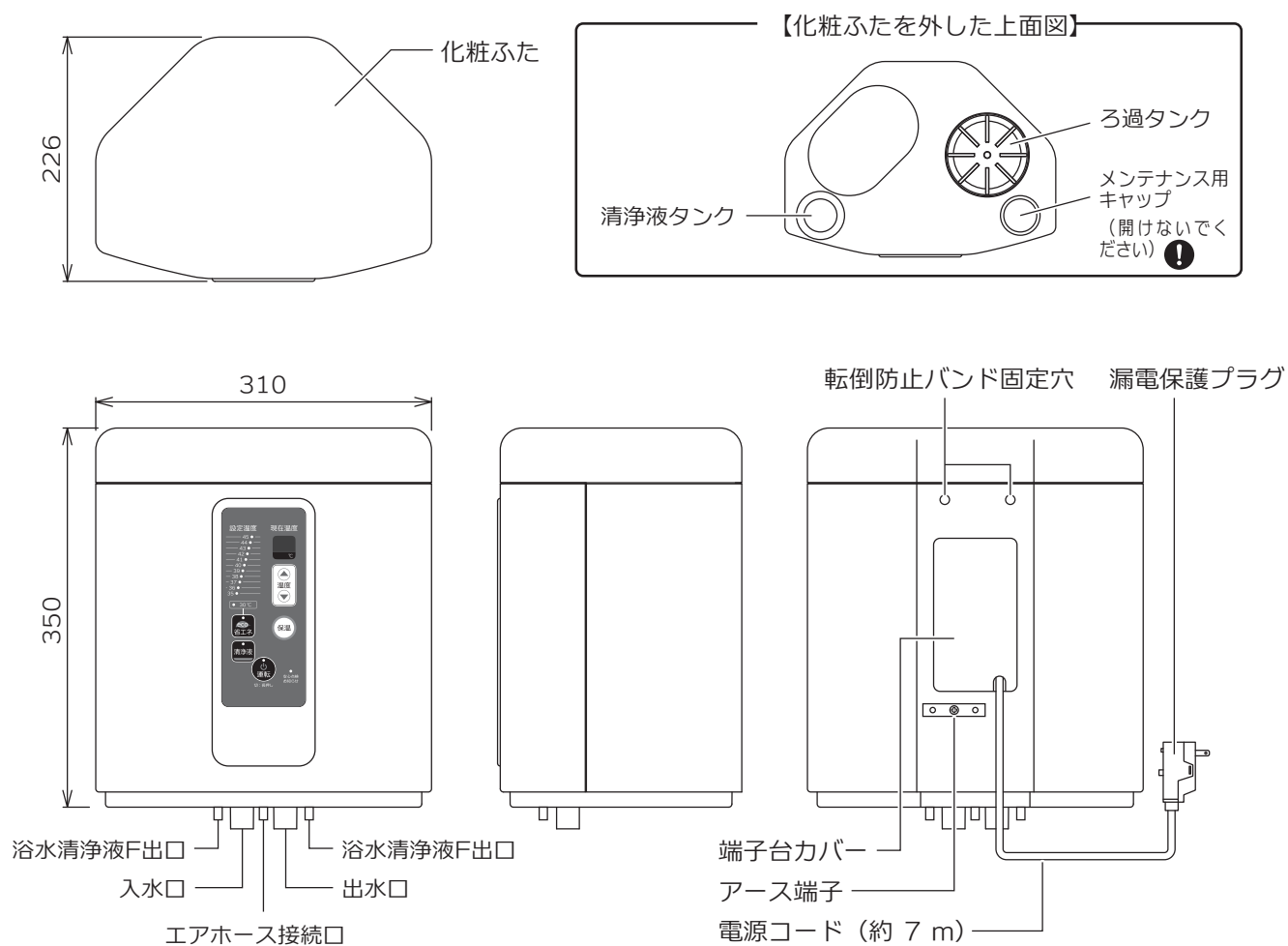
- 本体に表示してある電源（電圧、周波数）を使用してください。
- 専用電源を設け、他の機器とのタコ足配線をしないでください。

アースの接続

- 必ずアースを接続してください。
- アース線はガス管、水道管、電話のアース線などには接続しないでください。

2. 各部のなまえ

2-1. 本体



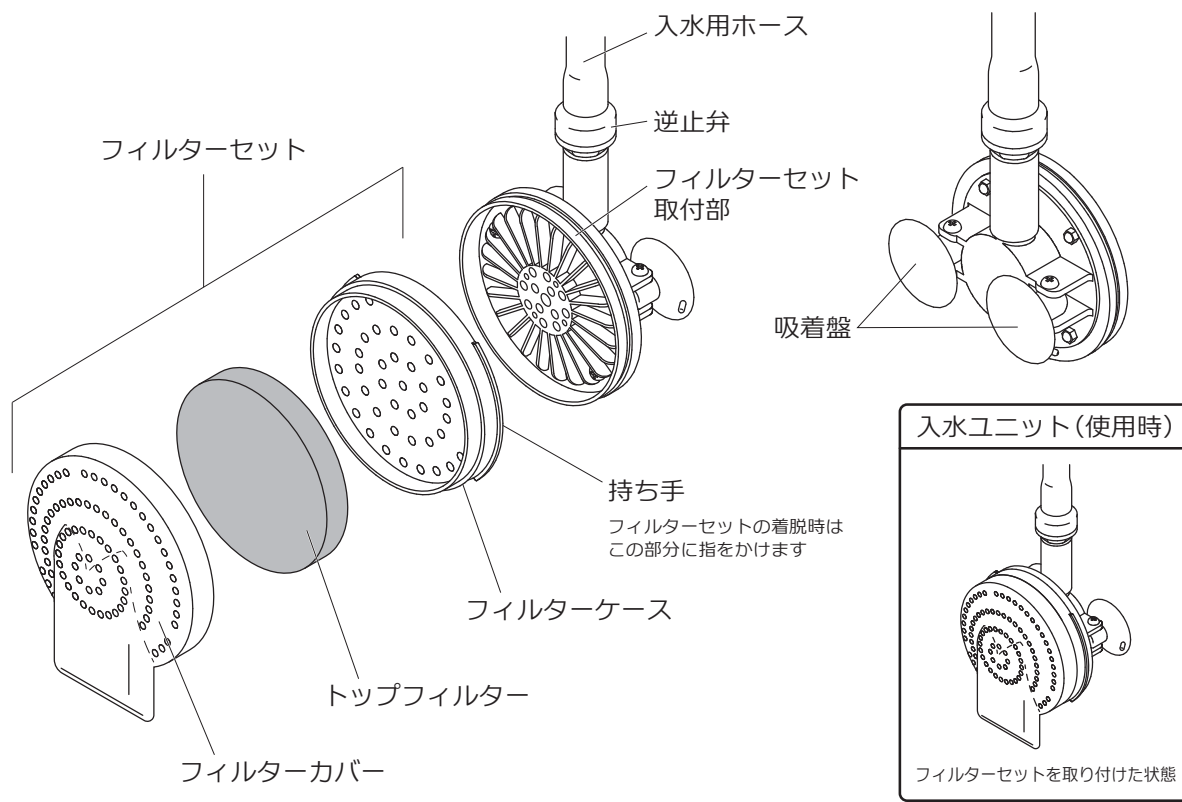
(単位：mm)

2. 各部のなまえ

2-2. 入水ユニット

入水ユニット

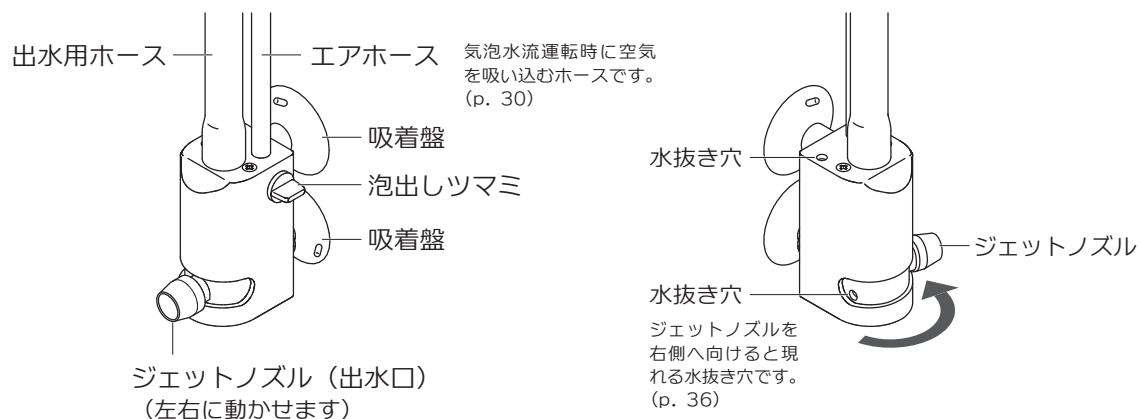
- ・浴水の吸い込み口です。
- ・フィルターセットは必ず取り付けられた状態でお使いください。
- ・トップフィルターを洗浄するときは「トップフィルターの洗浄 (p. 33)」に従って行ってください。



2-3. 出水ユニット

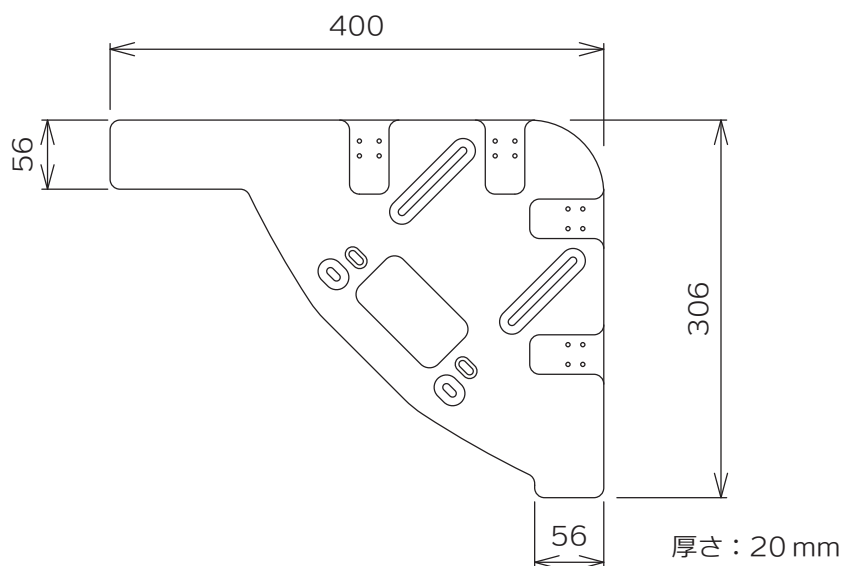
出水ユニット

- ・本体を循環してきた浴水がジェットノズルから出てきます。



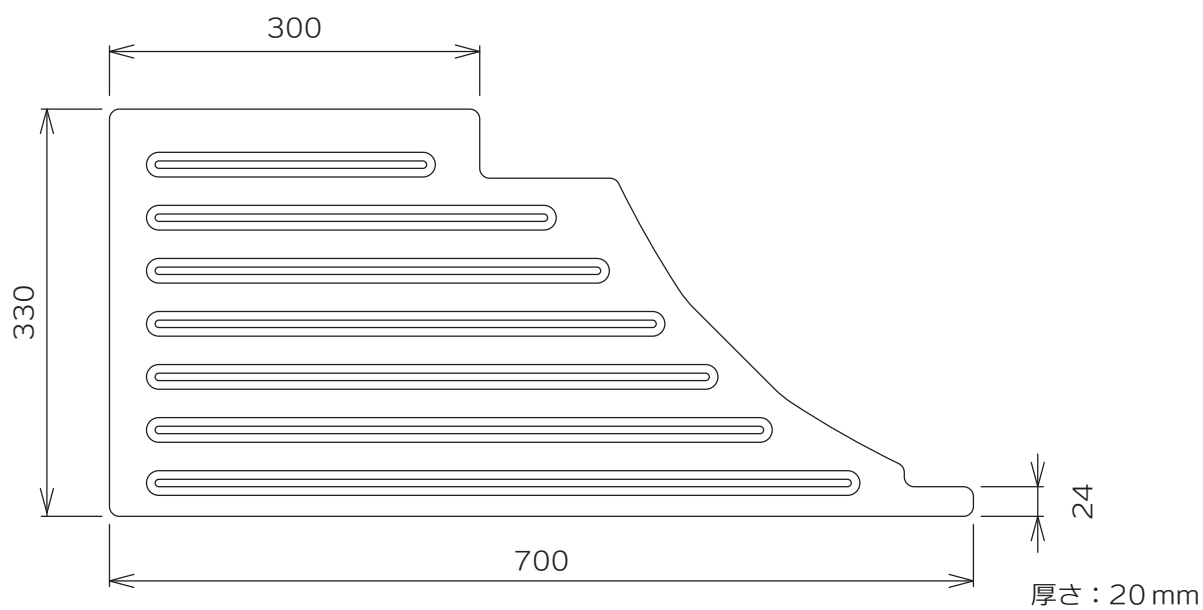
2. 各部のなまえ

2-4. 設置台



(単位：mm)

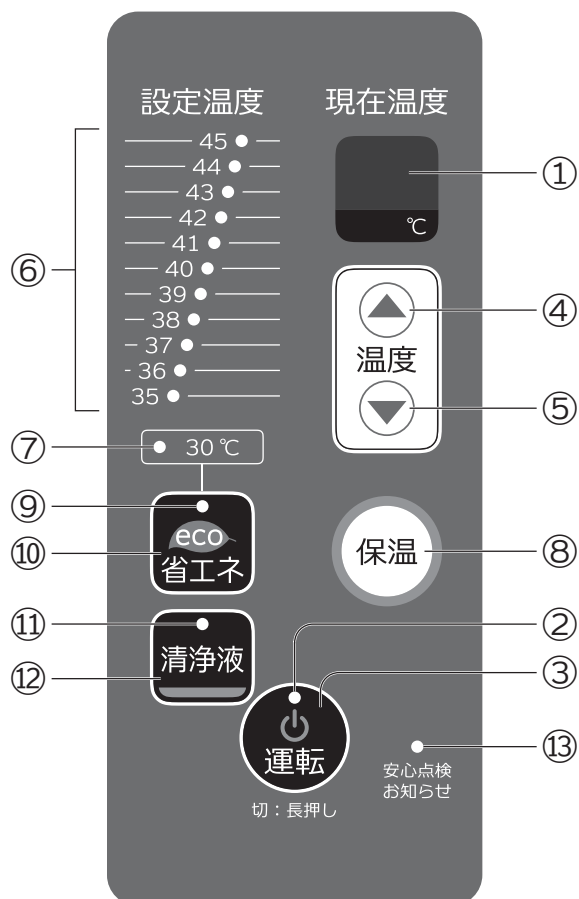
2-5. 風呂ふた



(単位：mm)

2. 各部のなまえ

2-6. 操作パネル



⑥ 設定温度ランプ (赤)
 浴水の設定温度を表示します (単位: °C)
 保温「切」時、省エネ運転中: すべて消灯

⑦ 30°Cランプ (緑)
 省エネ運転中: 点灯
 設定温度運転中、保温「切」時: 消灯

⑧ 保温スイッチ
 保温機能の動作/停止を設定します
 保温「入」時: 設定温度ランプ点灯
 保温「切」時: 設定温度ランプ消灯

⑨ 省エネランプ (緑)
 省エネ運転中: 点灯
 設定温度運転中: 消灯
 浴水清浄液Fが自動注入停止中: 点滅

⑩ 省エネスイッチ
 浴水温度を30°Cで保温運転するときに押します
 浴水清浄液Fの自動注入を停止するときは2秒以上押します
 (浴水清浄液Fの自動注入を再開するときは運転スイッチを入/切し、自動注入を再設定してください)

⑪ 清浄液ランプ (赤)
 消灯時: 浴水洗浄液Fは半分以上残っています
 点灯時: 浴水洗浄液Fは半分以下です
 ゆっくり点滅: 浴水清浄液Fを清浄液タンクに補給してください
 早い点滅: 浴水清浄液Fを浴水に注入中です

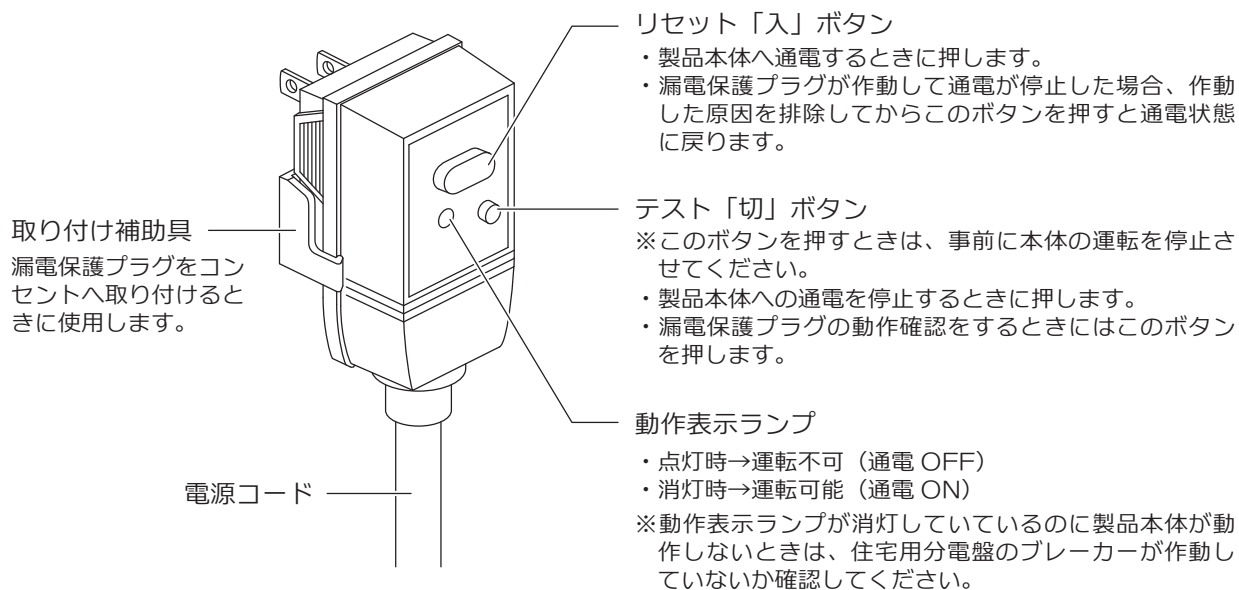
⑫ 清浄液スイッチ
 浴水清浄液Fを手動で注入するスイッチ
 (一度押すと1時間以内は注入できません)

⑬ 安心点検お知らせランプ (オレンジ)
 点灯または点滅したら点検が必要です
 販売店までご連絡ください

- ① 表示部 (赤)
 運転中: 浴水温度を表示
 エラー時: エラーを表示
 浴水加温中: コロン点灯 (右隅)
- ② 運転ランプ (緑)
 運転中: 点灯
 運転停止中: 消灯
 エラー時: 点滅
- ③ 運転スイッチ
 運転を開始したり停止したりする
 エラーをリセットする
 運転を停止するときは1秒以上長押しする
- ④ ▲ あつくスイッチ
 浴水の設定温度を上げる
 (一度押すと設定温度が1°C上がります)
- ⑤ ▼ ぬるくスイッチ
 浴水の設定温度を下げる
 (一度押すと設定温度が1°C下がります)

2. 各部のなまえ

2-7. 漏電保護プラグ



※漏電保護プラグの各部のなまえは、メーカーの表示に基づいて記載しています。

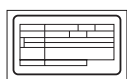
2-8. 付属品

※は消耗品です

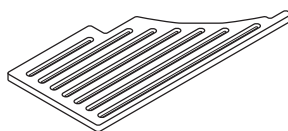
実物と一部形状が異なる場合があります。



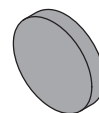
取扱説明書



保証書



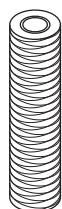
風呂ふた



トップフィルター
(2枚)
※



計量カップ



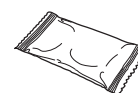
ろ過フィルター
(2本)
※



ろ過タンクふたパッキン
(装着品と別に1個)
※



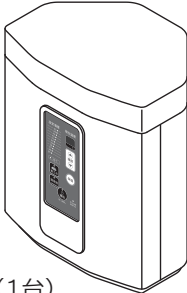
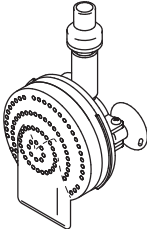
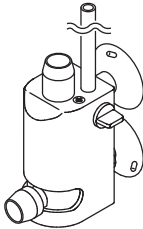
浴水清浄液F
(1500 mL)
※

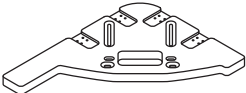
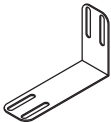


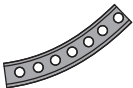
洗浄タブレット
(錠剤 30個)
※

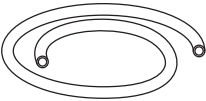
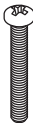
3. 設置のしかた

3-1. 設置工事用部品

本体	入水ユニット	出水ユニット
		
(1台)	(1個)	(1個)

設置台関係			
			
設置台 (1個)	設置台固定金具 (2個)	両面テープ (6枚)	ねじ 4×8 mm (4個)

転倒防止用		
		
転倒防止バンド 40 cm (1個)	平座金 (4個)	ねじ 4×12 mm (2個)

ホース関係	本体固定用	アース接続用
		
ホース 1 m (1本)	ねじ M5×25 mm (2個)	アース線 (1本)
		
点滴口延長ホース (2本)		

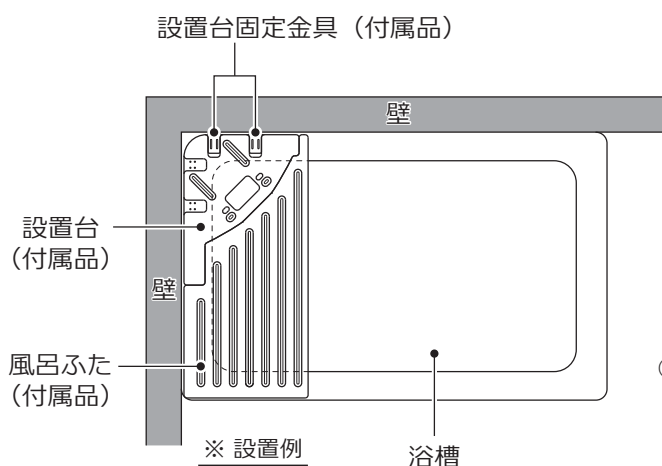
3. 設置のしかた

3-2. 設置台の取り付け

⚠ 警告

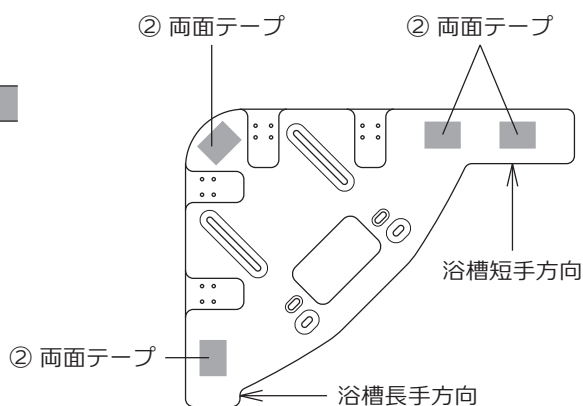
- 本機は浴槽コーナー設置専用です。設置するときは必ず、壁面側の浴槽コーナーに付属の設置台を取り付けてください。付属の設置台以外は使用しないでください。
- ガタつきや傾きの大きなところには設置しないでください。
- 設置場所の浴槽コーナーと壁面は、事前に汚れや水気を取り除いてから作業を行ってください。（正しく設置できていないと本体の落下により、本体の故障・ケガ・感電の原因になります）

- ①壁面側の浴槽コーナーに設置台を仮置きして位置決めを行う。
 - ・設置台に裏表はありません。設置状況に合わせてご利用ください。
 - ・本誌では下図の浴槽に設置する例として説明しています。
- ②位置が決まったら設置台の設置面側に、付属の両面テープを貼る。
- ③両面テープの剥離紙をはがしてから浴槽コーナーに設置台を置き、2～3分押さえつける。



⚠ 注意

設置場所を選定するときは、本体への配管接続および、ねじ固定ができる場所を選んでください。



- ④壁面側の設置台固定金具を両面テープで壁に固定する。
 - ・金具はどちらか一方の壁に2か所固定してください。

設置台固定金具について

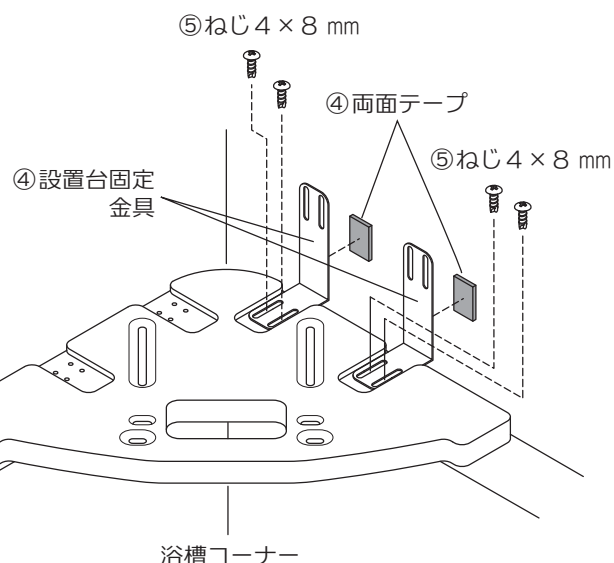
壁面と設置台の距離は、設置台固定金具の向きを変えて調節します。調整範囲は下記の通りです。

長手を壁側にした場合：0～37mm（右図）
短手を壁側にした場合：36～73mm

- ⑤設置台側の設置台固定金具をねじで固定する。
 - ・付属のねじ（4×8mm）で固定してください。

⚠ 注意

両面テープの粘着力は、貼り付けてから約24時間以降に発揮し始めます。それまでは無理に引っ張ったりはがしたりしないでください。



3. 設置のしかた

3-3. アース工事

- 必ずアース工事を行ってください。
- 付属のアース線をコンセントのアース端子に接続するか、アース棒（市販品）を地面に打ち込んでから本体後側のアース端子に接続してください。
- アース接続作業は次の要領で正しく行ってください。

⚠ 警告



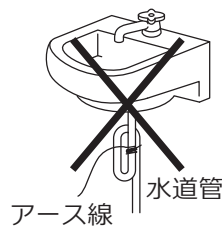
アース工事は電気工事士の有資格者が行ってください。
法令によりD種接地工事が義務づけられています。
（より安全をはかるため接地抵抗は100Ω以下にしてください）



アース線はガス管、水道管、電話のアース線などには接続しないでください。

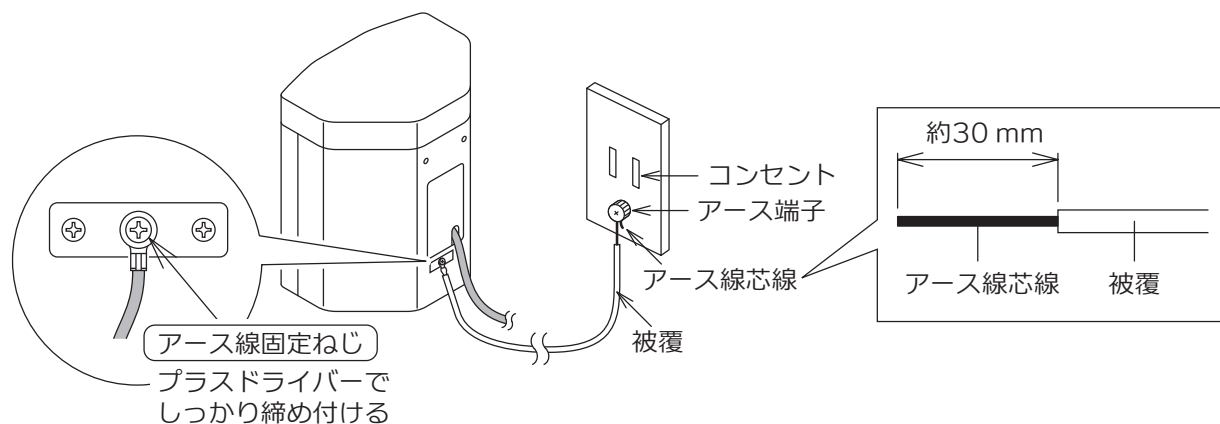


＜間違った例＞



■アース線（付属品）を使用する場合

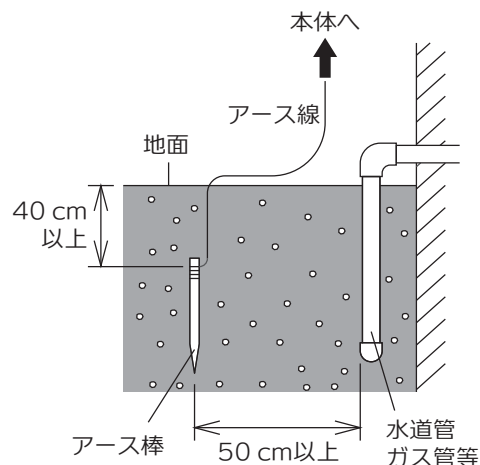
- ①本体背面のアース線固定ねじを一度外し、アース線の丸端子にアース線固定ねじを通してから本体に締め直して固定する（プラスドライバーでしっかり締め付けてください）。
- ②アース線的一方をコンセントのアース端子に接続する。



■アース棒（市販品）を使用する場合

- ①できるだけ日陰など湿気の多い地面を選ぶ。
- ②地面を約40 cm以上掘る。
- ③アース棒を打ち込む。
- ④本体背面のアース端子に、アース線固定ねじでアース線を接続する。

- アース棒の上端から地面まで、40 cm以上になるよう打ち込んでください。
- 近くに水道管、ガス管が埋まっている場合は50 cm以上離してください。
- アース線固定ねじはプラスドライバーでしっかり締め付けてください。



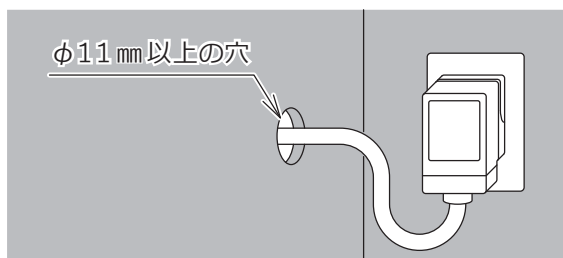
3. 設置のしかた

3-4. 電源コードを浴室の外へ引き出す

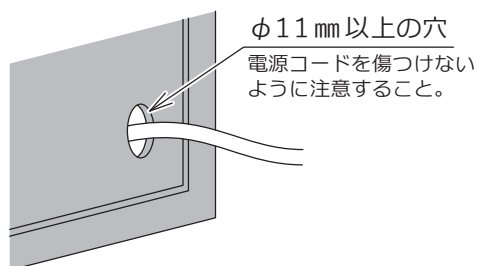
■本体背面から電源コードを一度取り外し、壁などに開けた穴や硬質ビニル管（絶縁管）などに通した後、再び本体に取り付ける方法です。

工事例 電源コード：約7m、外径φ10mm

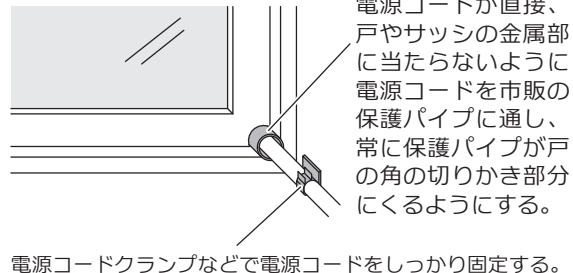
例1. 壁に穴を開ける場合



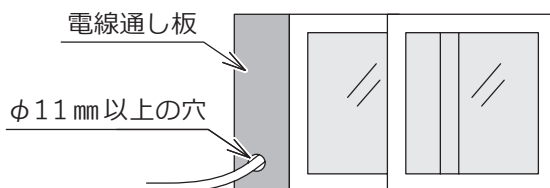
例2. 戸に穴を開ける場合



例3. 戸の角を切りかいて電源コードを通す場合



例4. 窓に電線通し板を設け、屋外のコンセントを利用する場合

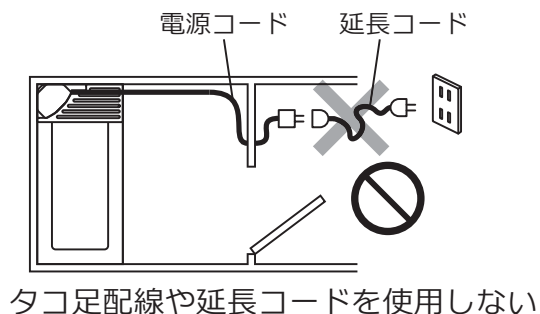
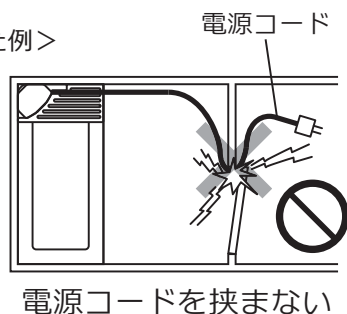


⚠ 注意

●電源コードを浴室の外へ引き出すときは以下のことに注意してください。

1. 電源はAC 100 Vです。
2. 電源は専用回路（15 A以上）でご使用ください。また、他の機器との併用はおやめください。
3. コード貫通部が金属等で、電線コードに傷が付く恐れがある場合は保護パイプ、塩ビパイプ等（いずれも市販品を購入してください）を使用して電源コードを保護してください。
4. 電源コードは市販のコード押さえでしっかり固定してください。
5. 屋外にコンセントを設置する場合は、プラスチック製防雨ボックスを取り付けてください。
6. 戸やドア等に電源コードを挟み込まないでください。またタコ足配線や延長コードは使用しないでください。
7. 延長コードを使用した場合、電圧降下により装置の性能が低下することがあります。また、コードの種類によっては発熱し、火災等の原因となる恐れがあります。
8. 電源コードをむやみに切断、および再接続しないでください。

<間違った例>



3. 設置のしかた

3-5. 本体から電源コードを取り外す方法

■次の作業を行うときは、コンセントから漏電保護プラグを抜いた状態で行ってください。

⚠ 警告

漏電保護プラグ側は絶対分解しないでください。



必ず守る



分解禁止

- ①端子台カバーのねじ（1本）を外してから、端子台カバーを本体から取り外す。
- ②電源コードを固定しているナイロンクリップの固定ねじ（1本）を外す。
- ③右図点線内の端子ねじ（2本）のみ外し、電源コードの白色線と黒色線を端子台から取り外す。

- ④緑色配線のギボシ接続を外す。
（ギボシ接続を外すときは、本体内部から出ている緑色線は無理に引っ張らないでください）

⚠ 注意

緑色線は「傾斜センサー用」の配線です。
アース線ではありませんので、アース接続しないでください。
アース工事はp. 12を参照してください。

- ⑤電源コードを壁などの穴、および硬質ビニル管、耐水性の絶縁管などに通す。
（必要に応じて本体のアース線も電源コードと一緒に通してください）
- ⑥電源コードを外したときの逆の手順で本体に結線し直し（右図参照）、端子台カバーを本体に取り付ける。

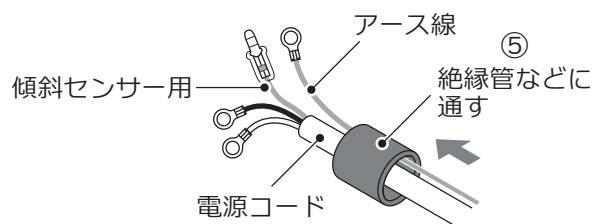
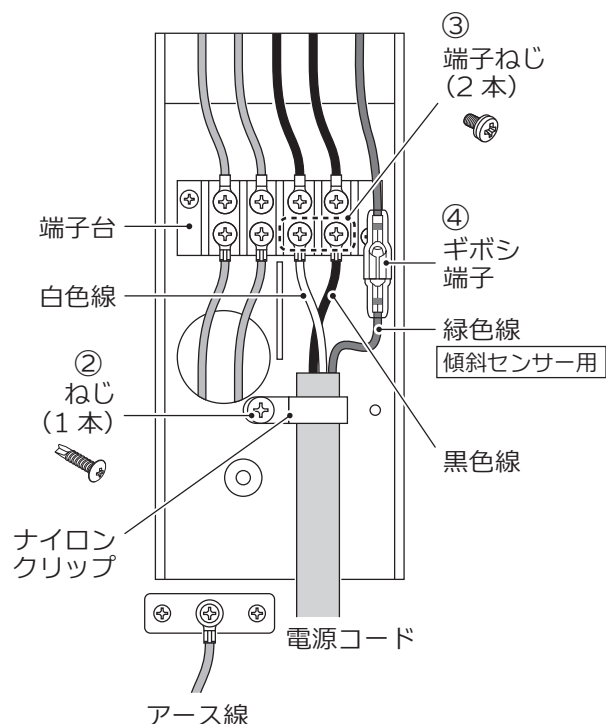
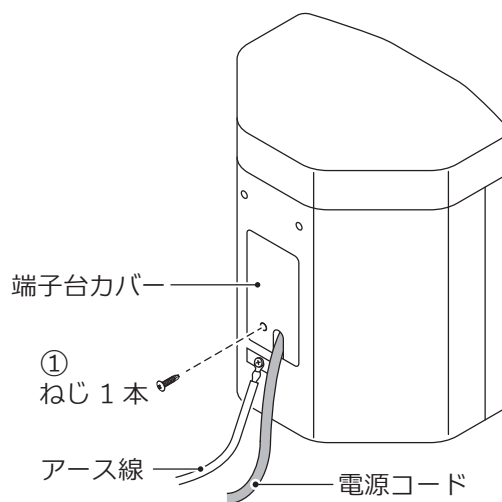
白色線 → 端子台の左側に接続

黒色線 → 端子台の右側に接続

（端子ねじ 締め付けトルク：15 kgf・cm）

⚠ 注意

- 丸端子の固定ねじはしっかり締めてください。
- ギボシ端子を接続するとき、端子同士をしっかりと奥まで挿入して接続してください。

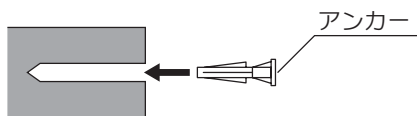


3. 設置のしかた

3-6. 転倒防止バンドを固定する下穴を開ける

- ①浴室の壁にドリルで下穴を開ける。
- ・穴開け位置は本体を設置台に置いたとき、本体上面より高い位置に開けてください。
 - ・下穴の径は使用するアンカーに合わせてください。

- ②固定穴にアンカーなどを打ち込む。



⚠ 注意

アンカーは付属していません。
錆びない材質の市販品を使用してください。

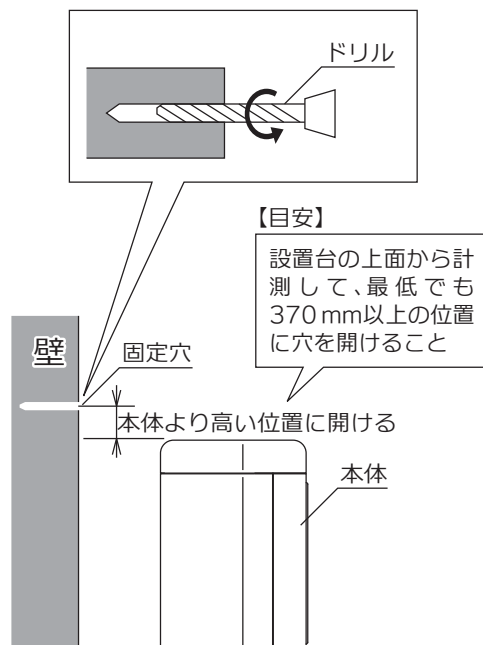
- ③削りくずを掃除する。
- ・設置台や設置台周辺、浴槽内などに散らばった削りくずをきれいに取り除いてください。

⚠ 注意

削りくずが付着した部分から錆びが発生するなど、汚れとなって落ちない場合があります。

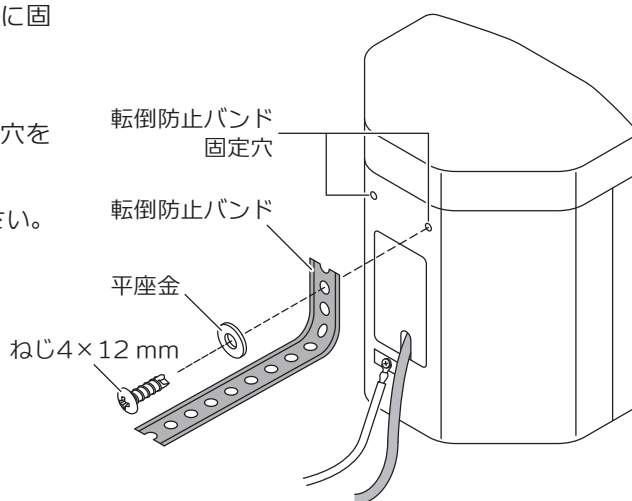
⚠ 警告

- 必ず強度のある壁に取り付けてください。強度不足の場合、製品本体が落下したり、壁が壊れたりして、故障やケガの原因になります。
- 壁への穴開けは壁の材質にあったドリルをご使用ください。穴開けに不備があると製品本体の落下によりケガの原因になります。



3-7. 転倒防止バンドを本体に取り付ける

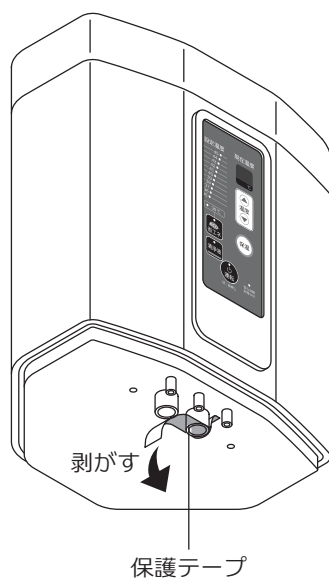
- 転倒防止バンドの片方に付属のねじ（4×12 mm）と平座金を通し、転倒防止バンド固定穴（本体後側）に固定してください。
- 転倒防止バンド固定穴は2か所あります。
設置状況に応じてどちらか片方、または両方の固定穴を利用してください。
- 転倒防止バンドの片方は、まだ壁に固定しないでください。



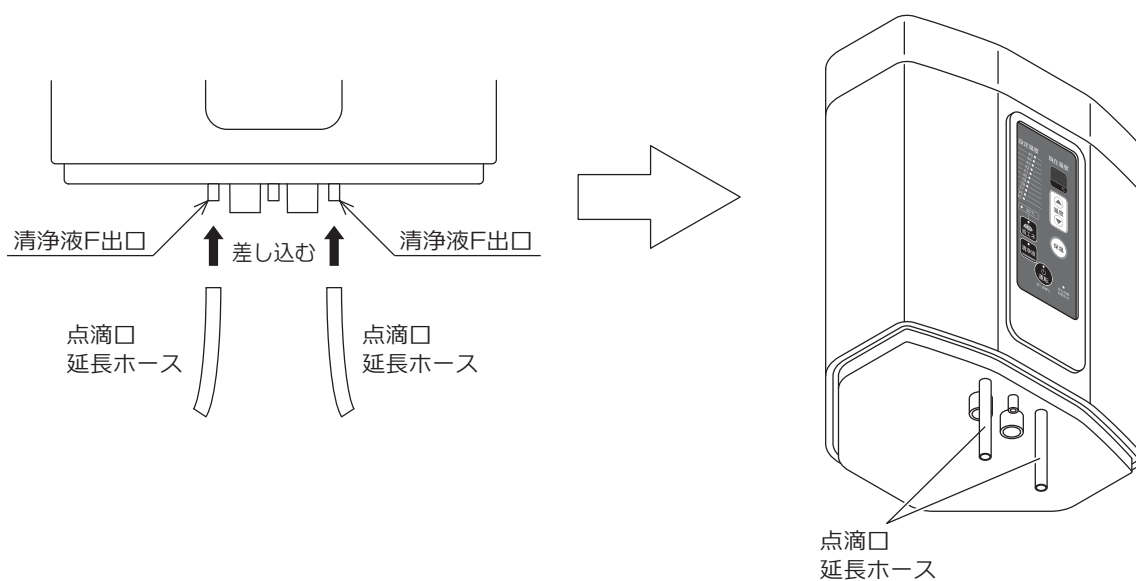
3. 設置のしかた

3-8. 点滴口延長ホースを接続する

- ① ホース接続口（本体底）の保護テープを剥がす



- ② 浴水清浄液F出口2か所に、付属の点滴口延長ホース2本をしっかりと差し込む

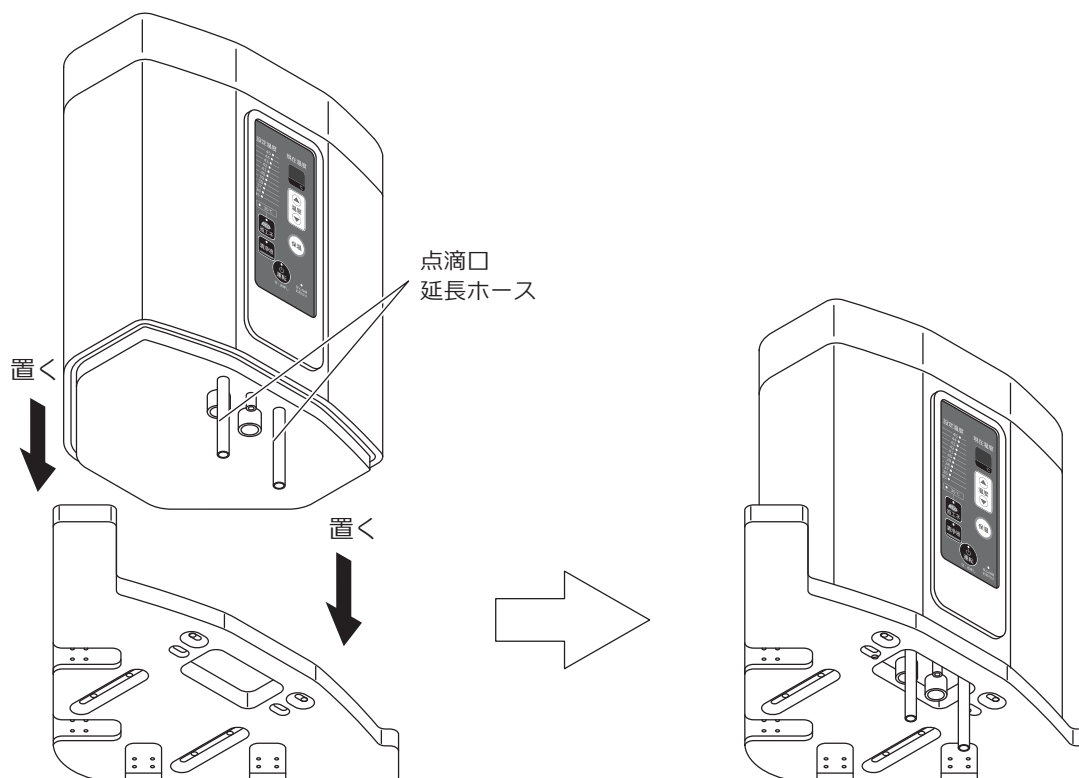


3. 設置のしかた

3-9. 設置台に本体を固定する

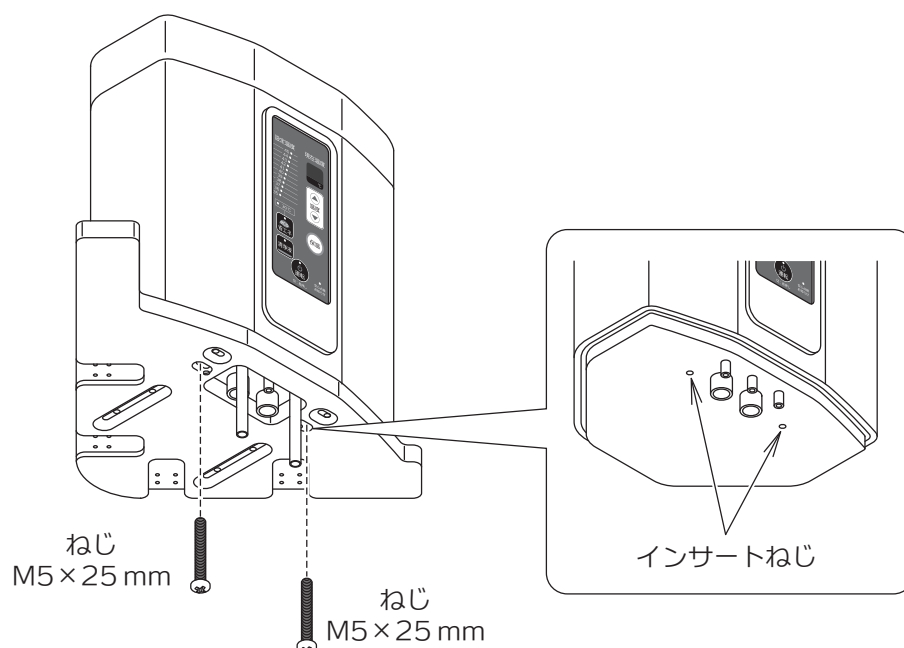
①設置台に本体をゆっくり置く

- ・点滴口延長ホースを設置台の穴に通しながら置いてください。



②設置台に本体を固定する

- ・付属のねじ（M5×25）2本を設置台の裏側から通し、本体のインサートねじ2か所に締め付けて固定してください。



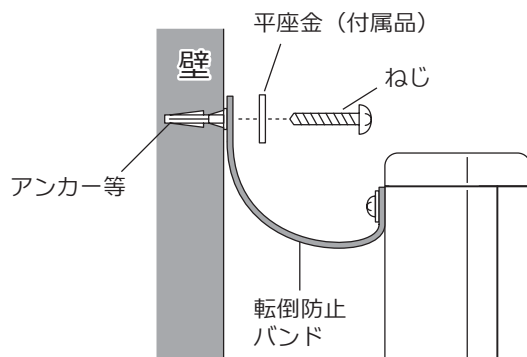
3. 設置のしかた

3-10. 転倒防止バンドを壁に固定する

- ・転倒防止バンドの片方に、アンカーのサイズに合ったねじと付属の平座金を通し、壁に固定してください。
- ・固定するときは、転倒防止バンドのたるみが少なくなるように調整して固定してください。

⚠ 注意

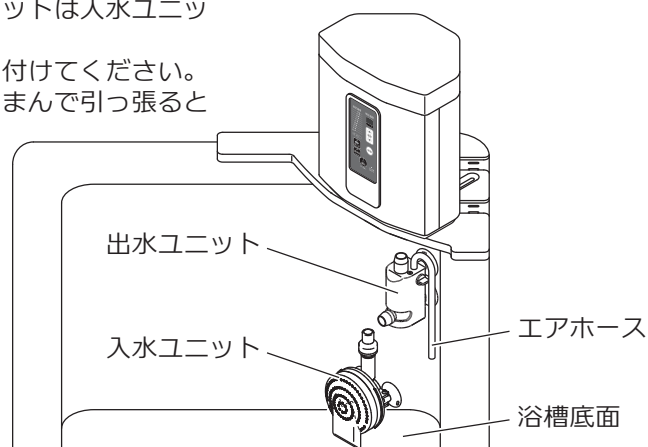
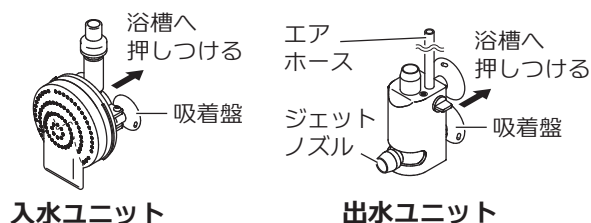
転倒防止バンドのたるみが多い場合、本体の落下を防げない場合があります



ねじは付属していません。
ステンレスなど錆びない材質の市販品を使用してください。

3-11. 浴槽に入水ユニット・出水ユニットを取り付ける

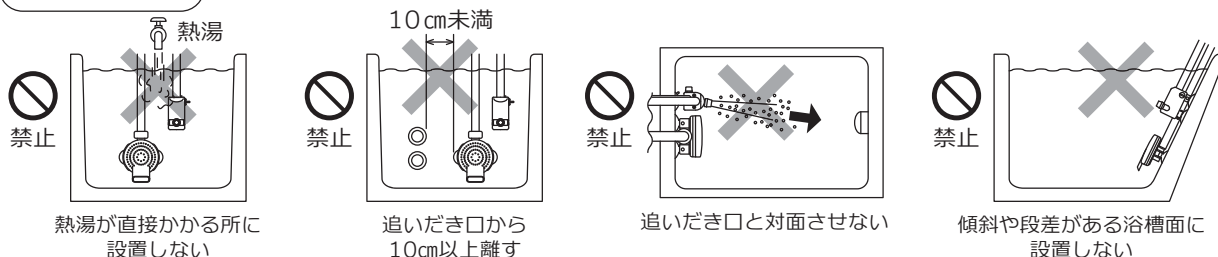
- ・各ユニットを浴槽内の側面へ取り付けてください。
(入水ユニットは浴槽の底面に近い位置へ、出水ユニットは入水ユニットより上の位置に取り付けます)
- ・各ユニットの吸着盤を浴槽へしっかり押しつけて取り付けてください。
- ・各ユニットを取り外すときは、吸着盤の突起部分をつまんで引っ張ると取り外しできます。



⚠ 警告

- ガス釜などを設置している場合、入水・出水ユニットは追だき口よりできるだけ（10 cm以上）離して設置してください。
- 給湯口のお湯が直接かかる場所に設置しないでください。熱により変形する恐れがあります。
- 傾斜や段差がある浴槽に設置すると正しく循環できません。傾斜や段差がある浴槽に設置する場合は、対面側など垂直に近い浴槽面に設置してください。

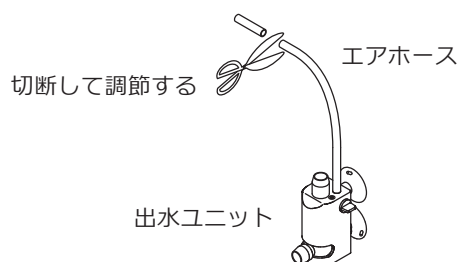
間違った設置例



3. 設置のしかた

3-12. ホースの作成と接続

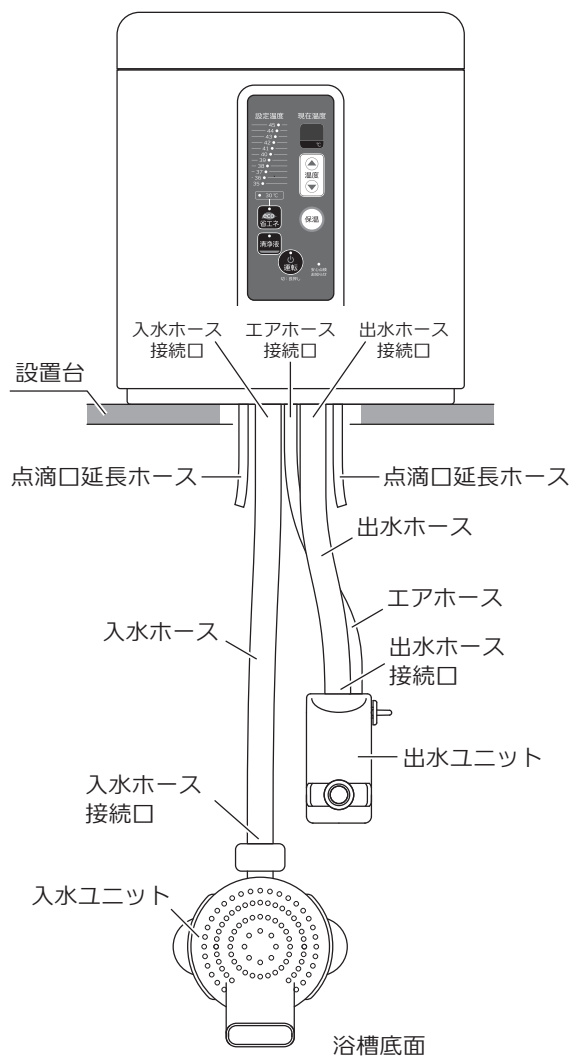
- ①付属のホースを用意し、入水ユニット・出水ユニットの接続口から本体接続口までの距離を測り、付属のホースを切断して入水ホースと出水ホースを作成してください。
- ②切断したホースを本体と各ユニットの接続口にしっかり差し込んでください。
- ③出水ユニットのエアホースを本体接続口までの距離に合わせて切断してください。



- ④出水ユニットから出ているエアホースを本体接続口までの距離に合わせて切断してください。
- ⑤エアホースをエアホース接続口の奥までしっかり差し込んでください。

⚠ 注意

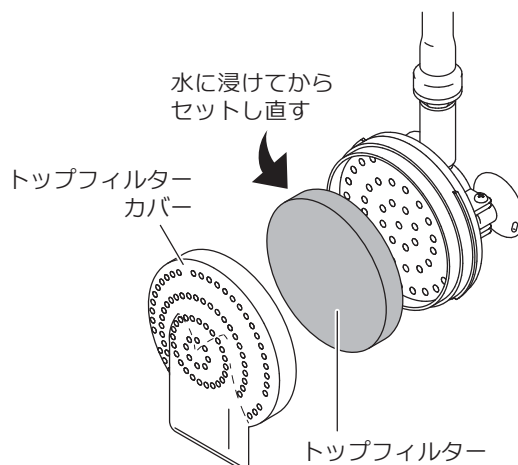
- ホースを切断するときは、接続した後にホースが折れたり、つぶれたりしない長さに調整して切断してください。
- ホースの接続を間違えないでください。エラーや故障の原因になります。
- 各ホースを接続するときは、ホース内および接続口に異物などが無いことを確認してください。



3-13. トップフィルターに水を含ませる

トップフィルターカバーを外してトップフィルターを取り出し、フィルター全体を水に浸けてから元に戻します。

水を含ませておくと運転開始時の始動性が良くなります。



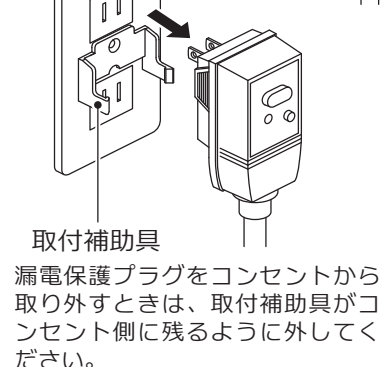
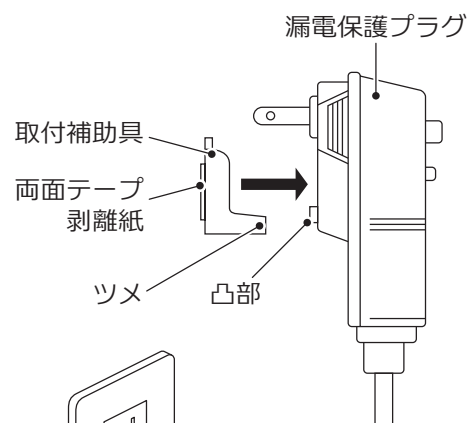
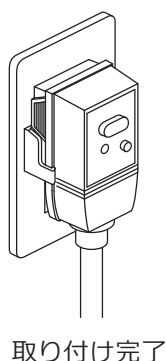
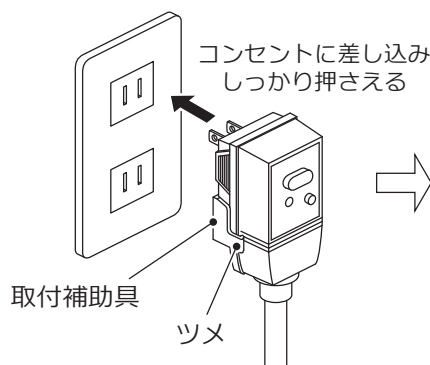
3. 設置のしかた

3-14. 漏電保護プラグをコンセントに取り付ける

- 漏電保護プラグは必ず取付補助具を使用し、下記手順でコンセントにしっかり取り付けてください。
- コンセントは本機専用コンセントとして使用してください。
- 漏電保護プラグの各スイッチの使用方法は p. 9 をご覧ください。

取り付け手順

- ①コンセント全体にホコリや汚れがある場合は事前に取り除いておく。
- ②取付補助具を漏電保護プラグの凸部に合わせ、取付補助具のツメ（左右 2 か所）が漏電保護プラグに引っかかるまで押しあてる。
- ③取付補助具の両面テープの剥離紙をはがす。
- ④漏電保護プラグをコンセントにしっかり差し込み、漏電保護プラグ全体をコンセント側に軽く押しあてて両面テープを接着させる。

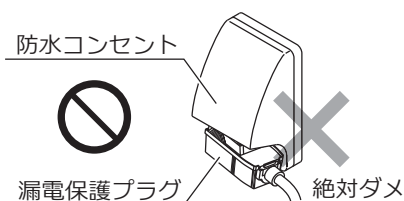


⚠ 注意

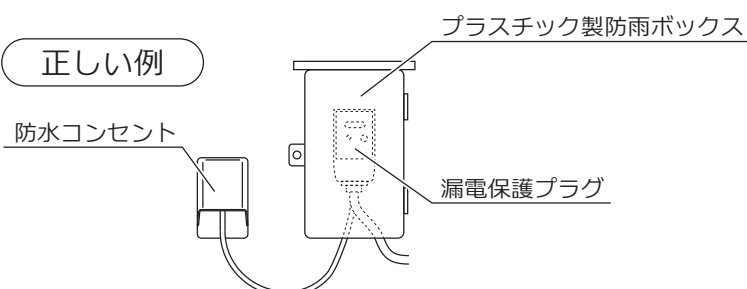
- 漏電保護プラグの取り付け方向は、電線の引き出し部が下になるようにしてください。
（簡易防雨構造は有しておりますが、水をかけたりしないでください）
- 漏電保護プラグをタコ足配線や延長コードには接続しないでください。
- コンセントは本機専用として使用してください。コンセントが 2 口用または 3 口用を使用する場合、他の口のコンセントは使用しないでください。
- 防水コンセントに直接差し込んで使用しないでください。
防水コンセントを使用する場合は専用回路であることを確認し、防水コンセント横にプラスチック製防雨ボックスなどを設置して、防水コンセントに接続してください。

< 防水コンセントを使用する場合 >

間違った例



正しい例



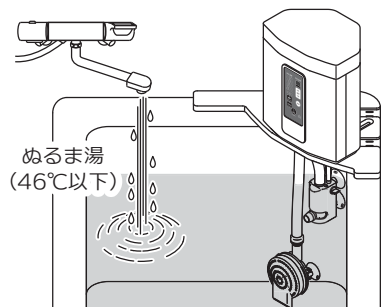
4. 使用前の準備

4-1. 浴槽に浴水をためる

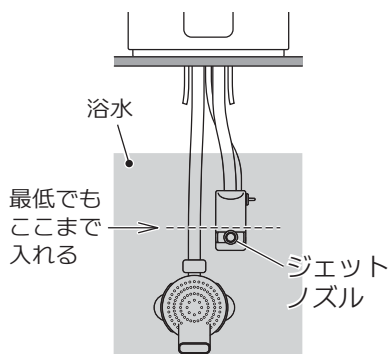
- ① 浴槽にぬるま湯（46℃以下）を入れて浴水をためてください

水を入れる場合、設定温度に沸き上がるまで時間がかかります

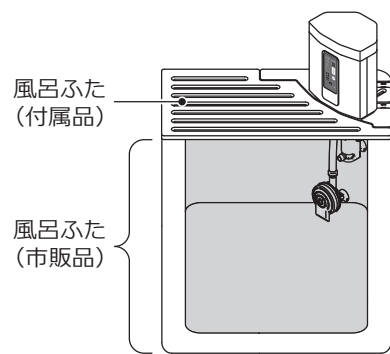
△ 熱湯は入れないでください



- ② 浴水は最低でもジェットノズルが浸かる位置まで入れてください
（ジェットノズルから上は好みの水位まで入れてください）

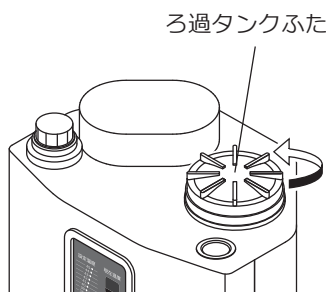


- ③ 本体側に付属品の風呂ふたを置いてください
（残りのスペースは市販品の風呂ふたを置いてください）



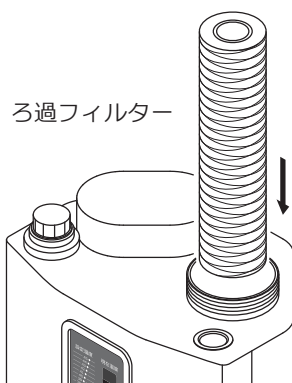
4-2. ろ過フィルターをセットする

- ① ろ過タンクのふたを開ける



- ② ろ過フィルターを入れる

ろ過フィルターに上下の向きはありません



- ③ 付属品の計量カップなどを使い、よび水をろ過タンクいっぱいまでゆっくり注ぎ入れてください



- ④ ろ過タンクの上まで水を入れると、ろ過フィルターが浮き上がってくるので、指で押さえながらろ過タンクふたを閉める

△ 締めすぎ注意

ろ過タンクのふたを強く締めすぎると、次回開けづらくなります。



4. 使用前の準備

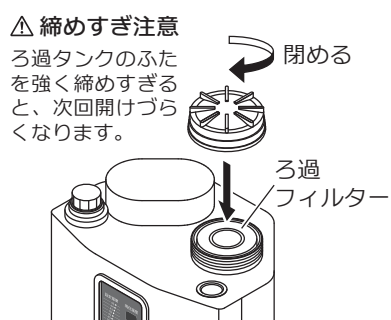
4-3. よび水を入れる

- ろ過タンクによび水を入れた後はふたを必ず閉めてください。
- よび水の後、運転を開始するときは出水ユニットの泡出しツマミを「気泡水流」(p. 30)にしておく、と、運転の始動性が良くなります。
- 運転を開始してもエラー「E3」により、1回で運転を開始できないときはよび水を数回繰り返してください。
- 運転開始後、いつもより循環量が少ない場合は一度運転を停止し、再度運転スイッチを押して運転を再開してください。

- ① 付属品の計量カップなどを使いよび水をろ過タンクいっぱいまでゆっくり注ぎ入れてください



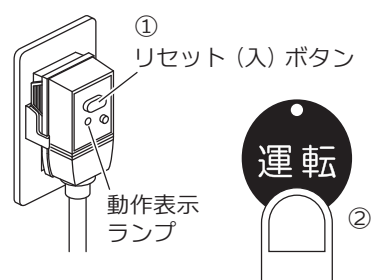
- ② ろ過タンクの上まで水を入れると、ろ過フィルターが浮き上がってくるので、指で押さえながらろ過タンクふたを閉める



△ 締めすぎ注意

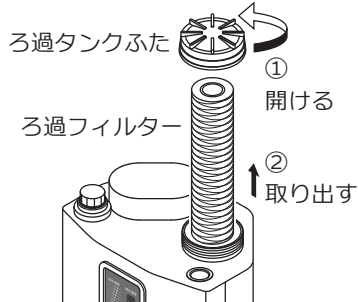
ろ過タンクのふたを強く締めすぎると、次回開けづらくなります。

- ③ 漏電保護プラグのリセット(入)ボタンを押し、動作表示ランプが消灯してから本体の運転ボタンを押してください

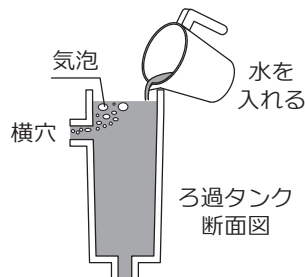


★上記の方法でよび水を何度行ってもエラー「E3」により運転が開始できないときは、下記の手順でよび水を行ってください。

- ① ろ過タンクのふたを開け、ろ過フィルターを取り出す



- ② ろ過タンク上部の横穴から気泡が出なくなるまでタンクに水を注ぎ入れ、ろ過タンクがいっぱいになるまで満たしてください

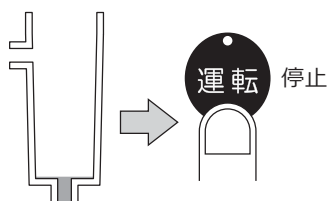


- ③ ふたを閉めずに運転スイッチを押して始動させてくださいしばらくするとエラー「E3」が表示されます



エラー「E3」を表示して停止しますが故障ではありません。運転スイッチを切/入すると復帰します。

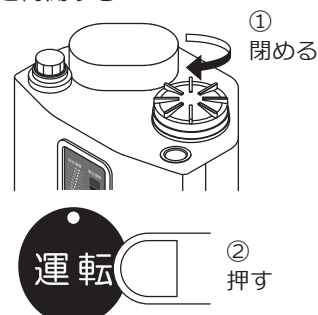
- ④ ろ過タンクが空になるまで③の操作を繰り返します



- ⑤ ろ過タンクにろ過フィルターを入れてから、よび水をゆっくり注ぎ入れる



- ⑥ ろ過タンクのふたを閉め、運転を再開する



4. 使用前の準備

4-4. 本体に浴室清浄液Fを入れる／補給

- 浴室清浄液Fは初回設置時のみ400 mL入れてください。以降、補給するときは300 mL入れてください。
- 浴室清浄液Fを入れるのは、本体に向かって左側のふたを開けたタンクのみです。右側のメンテナンス用キャップは開けないでください。
- 使用中に清浄液ランプがゆっくり点滅したら補給のタイミングです。下記の方法で補給してください。

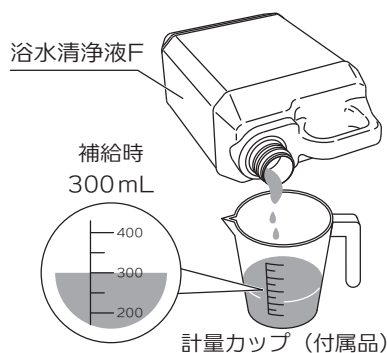
＜清浄液ランプの表示状態と浴室清浄液Fの残量（目安）＞

消灯時：半分以上残っています。

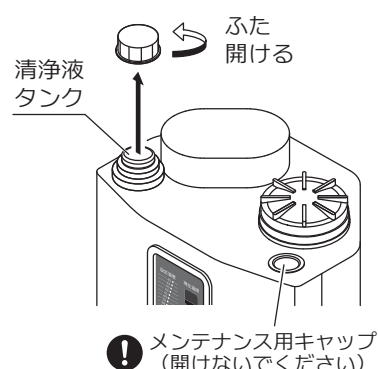
点灯時：残り約半分以下です。

ゆっくり点滅：浴室清浄液Fをタンクに補給してください。

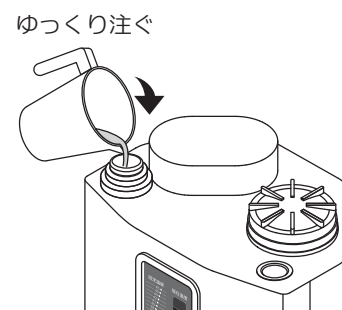
- ① 付属の計量カップに浴室清浄液Fを300 mL入れる
(初回設置時のみ400 mL)



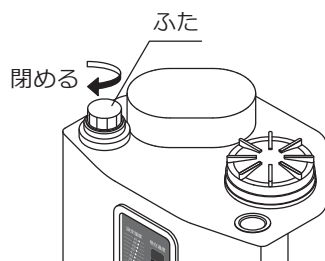
- ② 清浄液タンクのふたを開ける



- ③ ①で計量カップに入れた浴室清浄液Fをゆっくり注ぎ入れる



- ④ 清浄液タンクのふたを閉める



必ず守る！

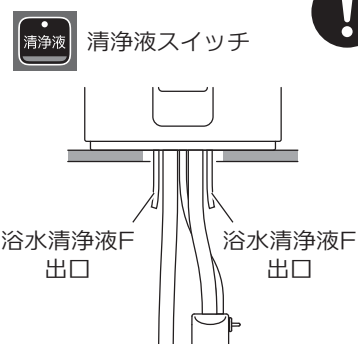
初回設置時、浴室清浄液Fをタンクに入れた後は必ず清浄液スイッチを1回押し、本体底部から浴室清浄液Fが出てくることを確認してください。

お知らせ

・2回目以降に清浄液スイッチを操作する場合は一度、漏電保護プラグ側の通電をOFF/ON操作（p. 9）しないと受け付けません。

⚠ 漏電保護プラグのスイッチを操作するときは、本体の運転を停止させてから行ってください。

・浴室清浄液Fの注入量が左右で違うときがありますが故障ではありません。



⚠ 注意

- 清浄液タンクには、決められた補給量を必ず入れてください。
初回設置時（全排出して清浄液タンクが空の場合）は400 mL、その後は300 mLです。指定量以外の補給を行うと浴室清浄液Fの残量が正しく計測できなくなり、清浄液ランプの表示が正しく表示しない場合があります。
- 仕様変更により注入量等に変更される場合があります。
- 浴室清浄液Fが入っていた容器が空になっても捨てずに保管してください。
（修理時など、液を容器に戻す場合に使用します）
- 使用した計量カップはきれいに水洗いし保管してください。
- メンテナンス用キャップは開けないでください。

4. 使用前の準備

⚠ 注意

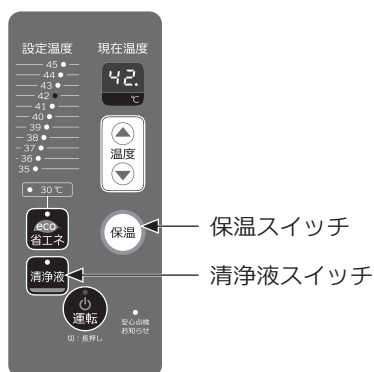
- 補給するときはあふれないように注意してください。あふれた場合はきれいに拭き取ってください。
- 1か月の注入量の平均が規定量となるように調整しています。このため注入量は多少のばらつきがありますが使用上問題ありません。
- 補給するときは清浄液ランプがゆっくり点滅しているときに行ってください。ランプが消灯または点灯しているときに補給するとタンクの注ぎ口からあふれ出る場合がありますので、注意してください。
- タンクに入れた後は必ずタンクのふたを閉めてください。
- 浴水清浄液Fを他の液体と混ぜてタンクに入れないでください。
- 清浄液タンクには決められた量を入れてください。
- 清浄液タンクは浴水清浄液Fの原液を入れる専用タンクです。
- 清浄液タンクに洗浄タブレットは入れないでください。
- 浴水清浄液Fの原液に洗浄タブレットをまぜると塩素ガスが発生して危険です。
- 目や口に入らないように注意してください。入った場合は流水で洗い流してください。
- 保存するときは保存容器のキャップをしっかりと閉め、冷暗所に保存してください。
- 子どもや乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- 誤って飲んでしまった場合は口の中を水ですすぎ、コップ1～2杯の水を飲ませ、無理に吐かずに速やかに医師の診断を受けてください。



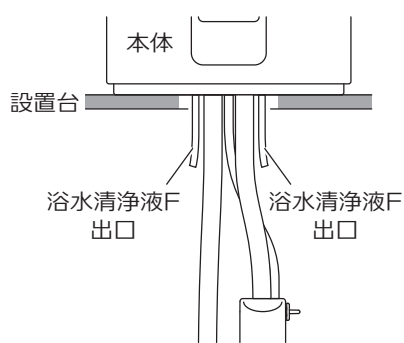
4-5. 浴水清浄液Fの自動注入を設定する

- 毎日1日1回のサイクルで、下記①で押した時刻になると自動的に浴水清浄液Fを浴水へ注入します。
- 自動注入の開始時刻を変更したいときは下記手順で再設定してください。
- 開始時刻は目安です。開始時刻がずれてきたときは下記手順で再設定してください。

- ① 自動注入したい時刻のときに保温スイッチを押しながら清浄液スイッチを押してください



- ② ①のスイッチを押した後、すぐに本体底部から浴水清浄液Fが出てくれば設定完了です



お知らせ

浴水清浄液Fの注入量が左右で違うときがありますが故障ではありません。

⚠ 注意

下記のような条件で本体への通電が停止すると自動注入設定の誤差が大きくなります。このような場合は再度、自動注入設定を行ってください。

- ・ 停電による運転停止
- ・ 漏電保護プラグのテスト（切）ボタンを押した
- ・ 通電中に漏電保護プラグをコンセントから抜いた

5. 使用方法

5-1. 運転の開始と停止

- 運転を開始する→運転スイッチを押す
- 運転を停止する→運転スイッチを1秒以上押す



運転が始まると

- 浴水の循環が開始します。
- 運転ランプが点灯します。
- 浴水温度を表示します。
- 設定された浴水温度に達していないときは加温を始めます。

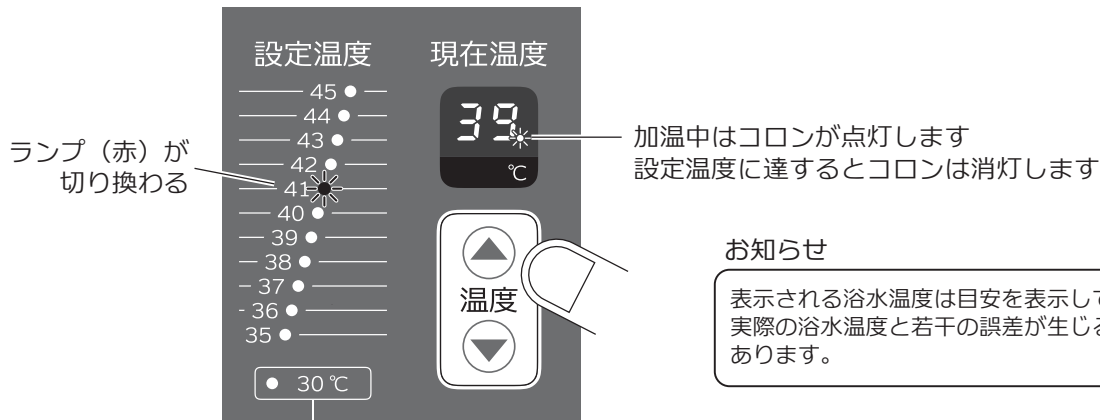
5-2. エラー表示のリセット

- 運転中にエラーが表示されると運転は自動停止します。
p. 37の処置方法を行ってから運転スイッチを切/入すると、エラー表示をリセットできます。

5-3. 浴水温度を変更する

- 浴水温度を変更したいときは「▲ あつくスイッチ」または「▼ ぬるくスイッチ」を押してください。スイッチを押すたびに設定温度ランプが切り替わります。浴水が設定温度に達すると、設定した浴水温度を保ちながら運転します。
- 浴水加温中は浴水温度表示部の右下にコロンが点灯します。

例：浴水温度が39℃のとき、設定温度を41℃に切り替えた場合



お知らせ

表示される浴水温度は目安を表示しています。実際の浴水温度と若干の誤差が生じる場合があります。

5-4. 保温

- 保温機能をOFFにして運転したいときは保温スイッチを押してください。設定温度ランプが消灯し、循環運転のみ行います（保温はしません）。
- 保温OFFを解除するときは、もう一度保温スイッチを押してください。設定温度ランプが点灯します。
- 浴水加温中は浴水温度表示部の右下にコロンが点灯します。
- 省エネ運転中に保温をOFFにすると、30℃保温ランプと省エネランプが消灯します。



5. 使用方法

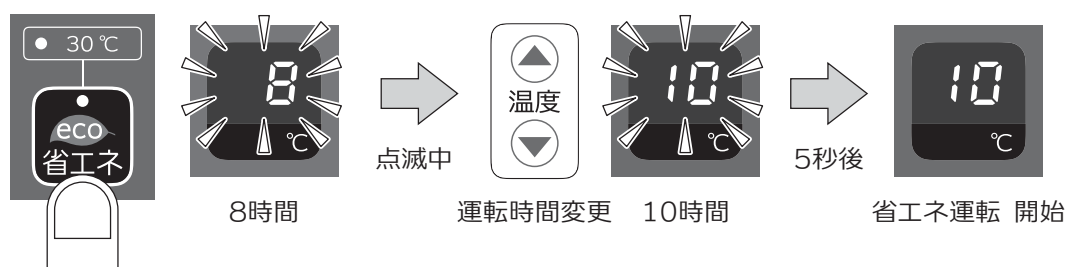
5-5. 省エネ運転

- 通常運転中に省エネスイッチを押すと、表示部が温度表示から省エネ運転時間に切り替わり点滅表示します。点滅表示から5秒間何も操作しなければ、5秒後に省エネ運転を開始します。
- 省エネ運転終了後は通常運転に切り替わり、自動的に設定湯温まで沸き上がります。



省エネ運転時間を変更する方法

- 省エネ運転時間の初期設定は8時間です。省エネ運転時間を変更したいときは次の手順で変更してください。
- 省エネ運転スイッチを押した後、表示部が点灯中に「▲ あつくスイッチ」または「▼ ぬるくスイッチ」を押すと省エネ運転時間を変更できます。変更後は何も操作せずに5秒間放置すると、5秒後に省エネ運転を開始します。
- 省エネ運転時間の設定範囲は1時間刻みで5～50時間まで変更可能です。

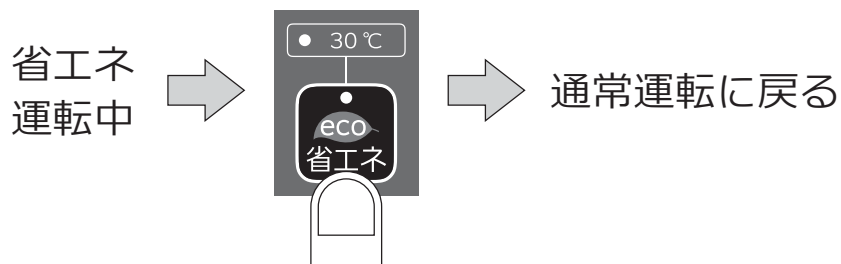


お知らせ

省エネ運転時間を長く設定しすぎると、次回入浴時間までに浴水の沸き上がりが間に合わない場合があります。間に合わない場合は省エネ運転時間を短くするか、浴水にお湯を足すなど調節してください。

省エネ運転停止する

- 省エネ運転中に省エネ運転スイッチを押すと省エネ運転は停止し、通常運転に戻ります。



5. 使用方法

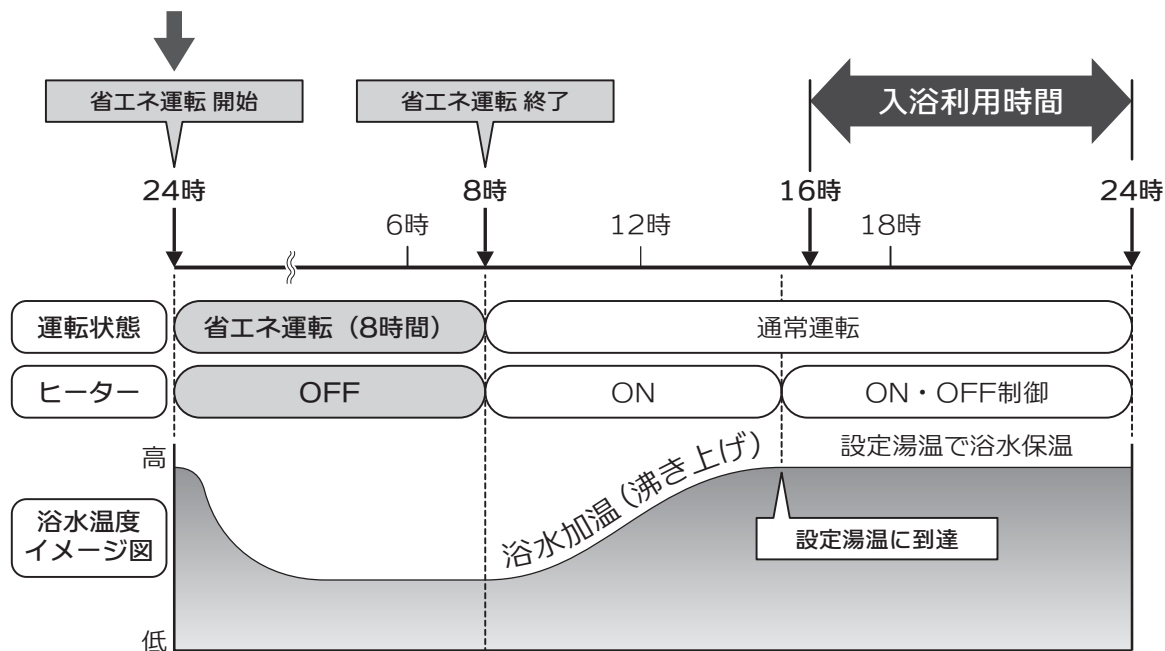
省エネ運転 動作イメージ図

<例>

省エネ運転時間：8 時間（深夜 24 時に省エネ運転開始）

浴室雰囲気温度：約 20℃

深夜24時に最終入浴者などが『省エネスイッチ』を押し、省エネ運転を開始させる。



5. 使用方法

5-6. 浴水清浄液Fの自動注入と手動注入

- 自動注入…毎日1日1回、設定した時刻に規定量の浴水清浄液Fを浴水へ自動注入します。
※自動注入の設定変更についてはp. 24をお読みください。
- 手動注入…清浄液スイッチを1回押すと、規定量の浴水清浄液Fを浴水へ注入します。
※1時間に1回だけ操作できます。



清浄液ランプ（赤）

点滴注入中

- 清浄液ランプが早く点滅します
- 本体底部の点滴出口から浴水清浄液Fが出てきます
※点滴出口を指などでふさがないでください
- ※点滴ポンプの作動音がします

5-7. 浴水清浄液Fの自動注入を停止する

- 次のようなときは自動注入を停止してください。
 - ・本製品の配管洗浄時とすすぎ運転時（p. 34～35）
- 省エネスイッチを2秒以上押すと自動注入が停止し、停止中は省エネランプがゆっくり点滅します。
- 自動注入を再開するときは運転スイッチを 入/切 してください。浴水清浄液Fの自動注入停止中に自動注入時間が経過した場合、その日の自動注入はキャンセルされます。



省エネランプ（緑）

停止中

- 省エネランプがゆっくり点滅します

5-8. 浴水清浄液Fの補給お知らせ

- 清浄液ランプがゆっくり点滅しているときは、タンク内の浴水清浄液Fが不足していることをお知らせしています。
p. 23の手順に従って浴水清浄液Fを補給してください。
- 浴水清浄液Fのお買い求めは販売店までご連絡ください。



清浄液ランプ（赤）

<ランプが示す清浄液の残量>

消灯時	半分以上残っています
点灯時	残り半分以下です
ゆっくり点滅	残り少ないので補給してください

⚠ 注意 補給するときは

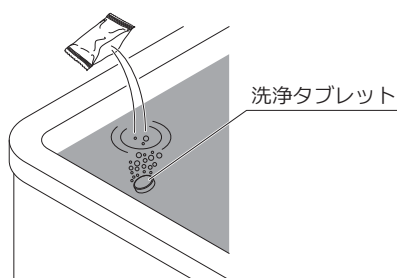
補給するときはランプがゆっくり点滅しているときに行ってください。ランプが消灯または点灯しているときに補給するとタンクの注ぎ口からあふれ出る場合がありますので、注意してください。

5. 使用方法

5-9. 洗浄タブレットを投入する

- 浴槽と本体内部を清潔に保つため、1週間に一度、付属の洗浄タブレットを浴水に投入してください。
- 付属の洗浄タブレットを使い切ったら、洗浄タブレットが同梱された別売のメンテナンスセットをご購入ください。メンテナンスセットのお求めは、本機をご購入された販売店までご連絡ください。

- ① 1週間に一度、循環運転中の浴水200L～300Lに対し、洗浄タブレットを1錠投入する

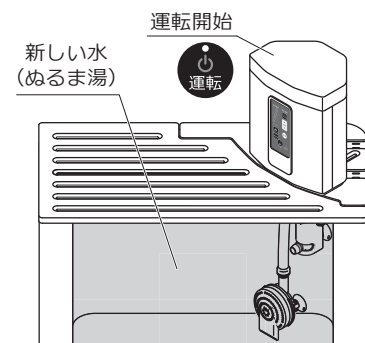


- ② 投入後、約1時間循環運転したままにする

この間、入浴はできません



- ③ 約1時間循環運転させたら浴水を新しい水またはぬるま湯に入れ替え、本機を運転させる



⚠ 警告

塩素系 まぜるな 危険！

- 酸性タイプの製品といっしょに使う(まぜる)と塩素ガスが発生して危険です。
- 洗浄タブレットを投入した浴水にイオウ系の入浴剤を入れると、硫化水素や塩素ガスが発生して危険です。おやめください。
- 浴水清浄液Fの原液とまぜると塩素ガスが発生して危険です。
- 24時間風呂本体の清浄液タンクとろ過タンクには入れないでください。
- こどもの手にふれないようにする。
- 液が眼に入ったら、すぐに水で洗う。
- 必ず換気をよくして使用する。



⚠ 注意

使用上の注意

- 用途以外には使用しないでください。
- 高温、多湿や直射日光の当たる所で保管しない。
- 洗浄タブレットを投入した浴水を洗濯水に使用しないでください。色物の色が漂白される恐れがあります。

応急処置

- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息すること。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当を受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 直ちに医師に連絡すること。漏出物を回収すること。

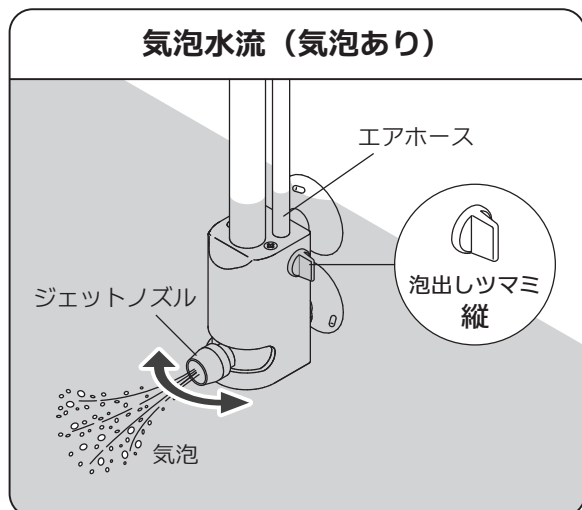
廃棄

- 内容物、容器は都道府県条例および区市町村の規則に従って廃棄すること。

5. 使用方法

5-10. 気泡水流

- 出水ユニットの泡出しつまみをまわすと「気泡水流（気泡あり）」「水流のみ（気泡なし）」の運転を選択できます。
- ジェットノズルは左右に動かして水流の向きを変えられます。



⚠ 注意

- エアホースは先端（空気吸い込み口）が水に浸かって塞がっていたり、折れ曲がっていたり目詰まりしていると、気泡は出てきません。本体底部からエアホースの先端を外さないでください。
- 「水流のみ（気泡なし）」の状態にしても小さな気泡が出てくることがあります。故障ではありません。

6. 点検・その他

6-1. 日常の点検

- 本体、ホースの接続部から水漏れしていないか確認してください。
- 本体の汚れは、水を含ませた布やスポンジで拭き取ってください。汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤を併用してください（ベンジン等の溶剤は本体が変色しますので使用しないでください）。
- 故意に本体に水やお湯をかけないでください。故障の原因になります。

6-2. 日常のお手入れ

- 本体と浴水を清潔に保つため、下記の清掃期間を目安にお手入れしてください。
- 清掃の頻度や消耗品の交換時期は入浴回数や入浴人数、汚れ具合によって早くなる場合があります。
- トップフィルター、ろ過フィルター、ろ過タンクふたパッキン、浴水清浄液F、洗浄タブレットは消耗品です。
- 本器の配管洗浄をするときは、24時間風呂専用配管洗浄剤「ニュークリーン24」（別売）をご使用ください。
※「ニュークリーン24」のお買い求めは本機をお買い求めになった販売店までご連絡ください。
- 本体および付属品の清掃に、付属の洗浄タブレット以外の塩素系洗剤は使用しないでください。
- 月に1回程度、漏電保護プラグのテストボタンを押して動作確認をしてください。動作表示ランプが点灯すれば正常です。点灯しない場合は故障ですので販売店までご連絡ください。
※漏電保護プラグのテストボタンを押すときは、本体の運転を停止させてから行ってください。
- 浴槽壁面のきつ水線の汚れとヌメリを除去するときは、浴槽に湯が張られたままの状態、スポンジで軽くこすってください。汚れが落ちにくいときは、浴水交換時など浴水が空のときにクエン酸水をかけてこすると落ちやすくなります。

<お手入れの内容>

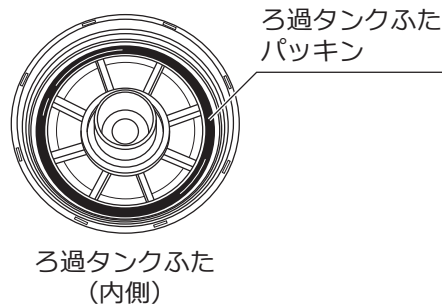
浴水の交換	1週間に一度
浴槽壁面のきつ水線の汚れとヌメリと除去	毎日入浴後
トップフィルターの洗浄	毎日入浴後
ろ過フィルターの交換	温度表示と「LH」（交換サイン）の交互表示時
配管の洗浄	6か月に一度
浴槽の洗浄	浴水の交換時と配管洗浄時

6-3. 消耗品について

- 消耗品を交換するときは下記『お手入れセット』をお買い求めください。お買い求めは本機をお買い求めになった販売店までご連絡ください。※お手入れセットの小分け販売は行っておりません。
- トップフィルターは、ろ過フィルターと同時に交換することをお勧めします。

<消耗品の交換と補充時期>

トップフィルター	傷んだら交換またはろ過フィルターと同時に交換
ろ過フィルター	温度表示と「LH」（交換サイン）の交互表示時
浴水清浄液F	半年に一度
洗浄タブレット	半年に一度
ろ過タンクふたパッキン	エラー「E3」が頻繁に発生するとき または傷んだら交換



— お手入れセット (約6か月分) —

- ①トップフィルター：2枚 ③浴水清浄液F：1500mL
- ②ろ過フィルター：2本 ④洗浄タブレット：30錠

6. 点検・その他

6-4. ろ過フィルターの交換

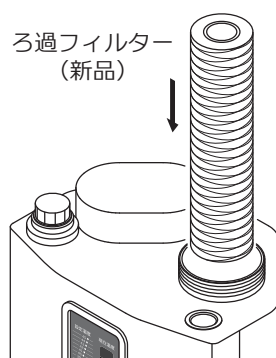
- ろ過フィルターは消耗品です。浴水温度表示部に温度と「LH」が交互に表示しているときは、ろ過フィルターの交換サイン(寿命)を表しています。この表示が出たら次回の浴水交換時に、下記の手順で新品のろ過フィルターと交換した後、交換サインをクリアしてください。
- ろ過フィルターの外観がきれいに見える場合でも、内部で目詰まりしていますので必ず交換してください。
- ろ過フィルターは本機専用品です。ご用命は本機をご購入された販売店までご連絡ください。



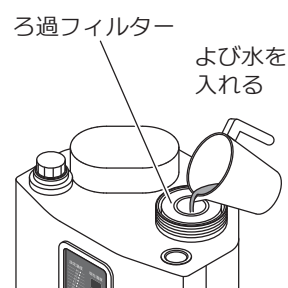
- ① 運転を停止させてから、ろ過タンクのふたを開ける



- ② 古いろ過フィルターを本体から取り出し、新品と交換する



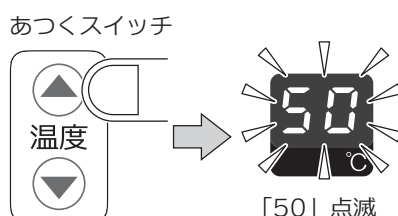
- ③ 付属品の計量カップなどを使い、よび水をろ過タンクいっぱいまでゆっくり注ぎ入れてください



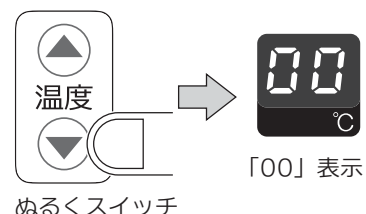
- ④ ろ過タンクの上まで水を入れると、ろ過フィルターが浮き上がってくるので、指で押さえながらろ過タンクふたを閉める



- ⑤ 交換サインのクリア操作を行います
「50」が点滅表示するまであつくスイッチを長押しする



- ⑥ 「50」が点滅表示したらぬるくスイッチを押し、「00」表示になるのを確認する



(「00」表示になったらクリア完了)

- ⑦ 運転ボタンを押して運転を再開する



運転が再開できない(循環しない)ときは、p. 22の方法でよび水を行ってから運転を再開してください

ろ過フィルターを廃棄するときは、地域指定の方法に従って廃棄してください。
ろ過フィルターの材質は以下の通りです。

【材質】

ろ材：ポリプロピレン

コア(芯棒)：ポリプロピレン

6. 点検・その他

6-5. トップフィルターの洗浄

- 必ず毎日洗浄してください。
- トップフィルターは消耗品です。トップフィルターが薄くなるなど、傷んできたら必ず新品と交換してください。
- トップフィルターを外したまま運転すると製品本体の故障の原因になります。
- トップフィルターを取り出すときはフィルターセットを浴水の外に取り出してから分解してください。浴水の中で分解すると、トップフィルターでキャッチしたごみが再び浴水に散らばります。

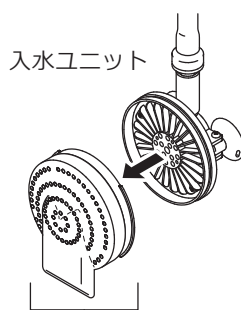
※トップフィルターを洗うときは石けんやボディソープを使ってやさしくもみ洗いし、よくすすいでからフィルターセットに戻してください。

① 運転を停止する



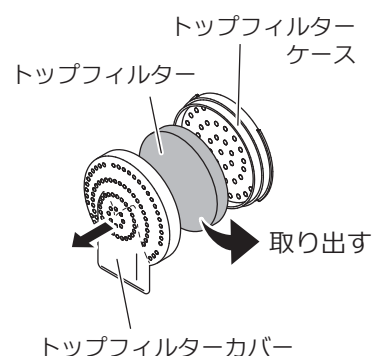
1秒以上押す

② フィルターセットを入水ユニットから取り外し、浴水から引き上げる



フィルターセット

③ 浴槽の外でフィルターセットを分解し、トップフィルターを取り外す

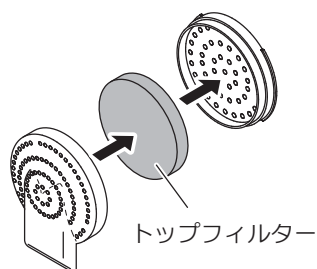


④ トップフィルターに付着したごみを指で取り除いた後、石けんやボディソープを付けてやさしくもみ洗いし、よくすすぐ



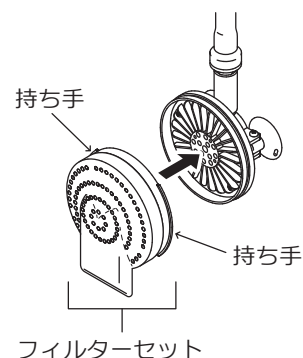
※洗浄力が強い洗剤は使用しないでください。

⑤ トップフィルターに水を含ませたままフィルターセットを組み立てる



※水を含ませるのは運転再開時にエラー「E3」を防止するためです

⑥ フィルターセットを入水ユニットへ取り付け、運転を再開する



6. 点検・その他

6-6. 配管洗浄

洗浄手順

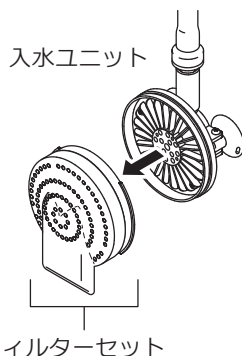
- 6か月に1度を目安に配管洗浄をお勧めします（汚れ具合によって洗浄期間が早まる場合があります）。
- 配管洗浄剤は循環温浴システム専用洗剤（別売品）をご使用ください。※お求めは販売店にご注文ください。
- 次の手順はバケツ（20リットルタイプ）を使用して、配管洗浄とすすぎを説明しています。
バケツがない場合は浴槽内に配管洗浄剤を入れ、配管洗浄とすすぎを行ってください。

① 運転を停止する

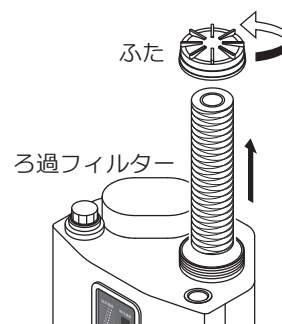


1秒以上押す

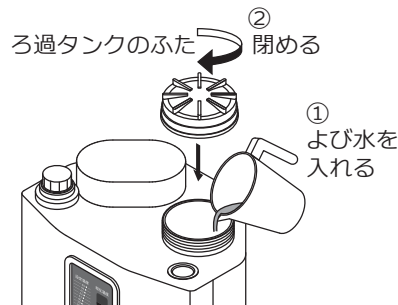
② フィルターセットを取り外す



③ ろ過タンクのふたを開け、ろ過フィルターを取り出す

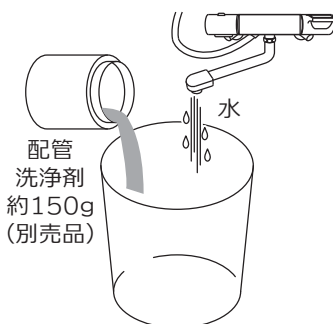


④ ろ過タンクによび水を入れ、ろ過タンクのふたを閉める

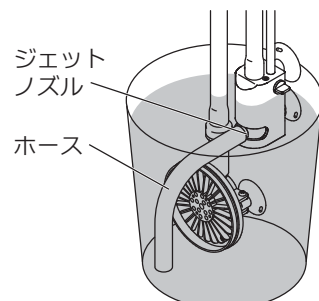


ろ過フィルターは入れないでください

⑤ バケツ（20L容器）に約150gの配管洗浄剤（別売）と水、またはぬるま湯を入れ、洗浄剤が溶けるまでよくかきまぜる



⑥ 洗浄剤を溶いたバケツを浴槽内に入れ、入水・出水ユニットをバケツに入れる



ホース等をジェットノズルに接続すると水はねが少なくなります

⑦ 運転スイッチを押して洗浄運転を開始する



洗浄開始

- ・ 洗浄運転は1時間以上行ってください
- ・ エラー「E3」により運転できないときは、ろ過タンクによび水を入れてください

⑧ 洗浄運転を開始したら省エネスイッチを2秒以上押し続け、浴水清浄液Fの自動注入を停止する



2秒以上押す

洗浄が終了したら次ページのすすぎを行ってください。

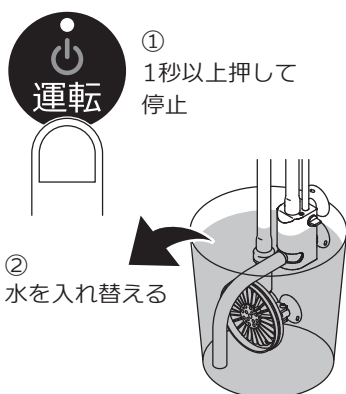
次へ進む

6. 点検・その他

すすぎ手順

■エラー「E3」によりすすぎ運転を開始できないときは、ろ過タンクによび水を入れてください。

- ① 運転を停止し、バケツの水をきれいな水に入れ替える



- ② 運転スイッチを押してすすぎ運転を開始する



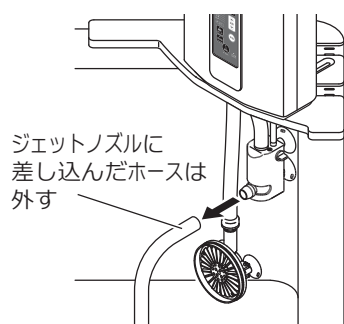
すすぎはバケツの水が濁らなくなるまで数回、水を入れ替えながら行ください。

- ③ バケツの水が濁らなくなったら運転スイッチを押し、すすぎ運転を終了する

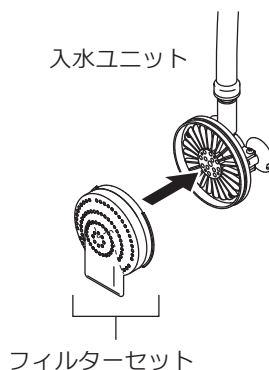


すすぎ運転終了後、各ユニットをバケツに入れたままの状態、市販のクエン酸のみをp.34と同じ要領でバケツに溶いて洗浄運転すると、より効果的な洗浄が行えます。

- ④ バケツから入水・出水ユニットを取り出して浴槽内に固定し、浴槽に浴水（ぬるま湯）をためてください

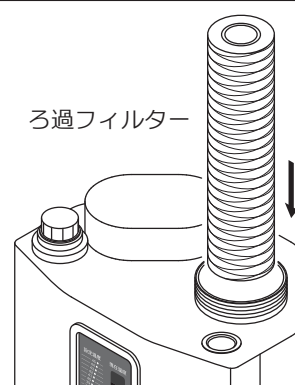


- ⑤ 入水ユニットにフィルターセットを取り付ける



- ⑥ ろ過フィルターを入れる

ろ過フィルターに上下の向きはありません



- ⑦ 付属品の計量カップなどを使いよび水をろ過タンクいっぱいまでゆっくり注ぎ入れてください



- ⑧ ろ過タンクの上まで水を入れると、ろ過フィルターが浮き上がってくるので、指で押さえながらろ過タンクふたを閉める

△ 締めすぎ注意

ろ過タンクのふたを強く締めすぎると、次回開けづらくなります。



- ⑨ 運転を再開し、浴水清浄液Fの自動注入を再設定する



運転再開後
浴水清浄液Fの自動注入を再設定してください（p. 24）

6. 点検・お手入れ

6-7. 長期間使用しないとき

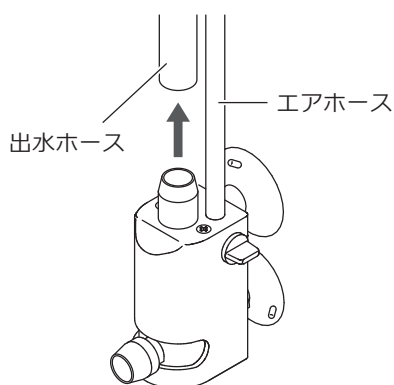
- 清浄液タンクから浴水清浄液Fをすべて排出し、元の容器に戻してください。清浄液タンクはすすいで乾燥させてください。
- 本体の運転を停止し、漏電保護プラグの切ボタンを押してから漏電保護プラグをコンセントから抜いてください。
- 配管・ろ過フィルター・トップフィルター・清浄液タンクを洗浄し、本体内部の水をできるだけ抜いて乾燥させてから保管してください。
- 再び使用するときは「使用前の準備」にしたがって運転を開始してください。

<清浄液タンクのすすぎ方>

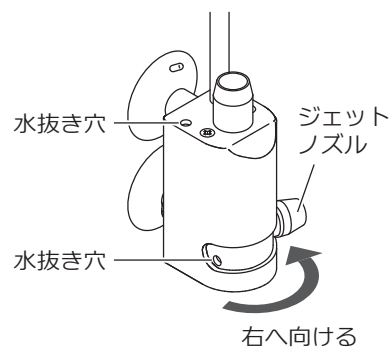
- ① 清浄液スイッチを5秒以上押し続け、残液をすべて排出する。
 - ・ 点滴ポンプが3分間作動し、浴水清浄液F出口から残液が排出されます。
 - ・ 3分以内に排出しきれない場合は再度、清浄液スイッチを5秒以上押し続けてすべて出しきってください。
 - ・ 排出した浴水清浄液Fは元の容器に戻し、しっかりふたを閉めて保管してください。
- ② 清浄液タンクのふたを開ける。
- ③ 付属の計量カップに400 mLのぬるま湯（41～45℃程度）を入れ、清浄液タンクに注ぎ入れる。
- ④ 清浄液スイッチを5秒以上押し続けてぬるま湯をすべて排出する。
 - ・ 浴水清浄液F出口から排出されます。
 - ・ 3分以内に排出しきれない場合は再度、清浄液スイッチを5秒以上押し続けてすべて出しきってください。

<出水ユニットの水抜き方法>

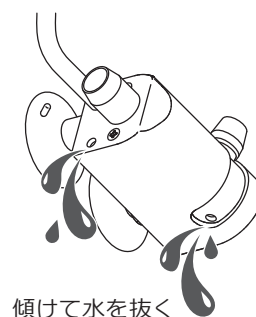
- ① 出水ホースを抜いてください



- ② ジェットノズルを右側いっぱいに向けてください。左側面に水抜き穴が現れます



- ③ 出水ユニットを左に傾け、水抜き穴（2か所）から水を抜いてください



6-8. 安心点検のお知らせについて

- 操作パネル右下の安心点検お知らせランプが点灯、または点滅したら本体の点検が必要です。販売店まで必ずご連絡ください。点検を行わないとランプは消灯しません（有償）。

※ 安心点検の際、部品の状態によっては交換が必要になる場合があります（有償）。

交換対象例：チューブポンプ、チューブポンプのチューブ、循環ポンプ、電子基板、など

安心点検お知らせランプ
(オレンジ)



7. エラー表示

- 操作パネルの浴水温度表示部にエラーが点滅表示するときは下記の処置方法を行ってください。
解決しない場合は販売店にご連絡ください。
- エラー表示は運転スイッチを 切／入 するとリセットできます（復帰しないエラーもあります）。

エラー表示	原因	処置方法
 	水温センサーの故障	販売店にご連絡ください
	基板の故障	販売店にご連絡ください
	ポンプ停止中に水流を検知した	販売店にご連絡ください
	ポンプ作動中に水流を検知できなかった	・よび水を数回行う ・トップフィルターを洗浄または交換する ・ろ過フィルターを洗浄または交換する ・配管洗浄を行う ・配管中の異物を取り除く ・入出水ホースの接続が正しいか確認する ・ろ過タンクのふたをしっかりと閉める ・ろ過タンクのふたの内側にあるゴムパッキンが傷んでいる場合は交換する
	空焚きセンサーが作動した	販売店にご連絡ください
	ヒーターが24時間以上、連続通電された ・300 L以上の浴水量を使用している ・浴室の気温が低下している ・風呂ふたをしていない	・販売店にご連絡ください ・一般的な家庭用浴槽の水量でお使いください。 ・入浴しないときは浮かしふたをして浴水を保温してください。 （一度運転を切／入すると「HE」は解除されます）
 （無表示）	① 運転が停止している ② 漏電保護プラグがコンセントから抜けている ③ 漏電保護プラグのランプが点灯している ④ コンセントに電気（100 V）が来ていない	① 運転スイッチを押す ② 漏電保護プラグを差し込む ③ 漏電保護プラグのリセットボタンを押す ④ 屋内のブレーカーを調べてください
47℃以上の浴水温度が点滅 （運転継続ピー音）	本体内部の浴水温度が47℃以上になった	浴水に水道水を入れるなど、浴水温度を下げる （放置したまま46℃以下まで下がるとピー音は止まります）
50℃以上の浴水温度が点滅 （運転停止）	本体内部の浴水温度が50℃以上になった	浴水に水道水を入れるなど、浴水温度を下げる （放置したまま46℃以下まで下がると自動復帰します）
5℃以下の浴水温度が点滅 （運転停止）	本体内部の浴水温度が5℃以下になった	5℃以下では運転しません（凍結による故障防止） （放置したまま7℃以上に達すると自動復帰します）

※運転スイッチを入／切しても再びエラー表示になる場合は、本製品の漏電ブレーカーのテストボタンを押し、電源を遮断してから販売店にご連絡ください。

この表示はエラーおよび故障ではありません



温度表示と「LH」表示が交互に表示しているときは、ろ過フィルターの交換サインを表しています。エラーや故障ではありません、次の浴水交換時に新品のろ過フィルターと交換してください（p. 32）。

8. おかしいなと思ったら

- 修理を依頼する前に該当する症状がないか下記を確認してください。
- 処置方法を行っても改善しないとき、または下記にない症状が発生したときは販売店までご連絡ください。

症状	原因・処置方法
浴水が濁る	・浴水を入れ替えてください。 ・入浴剤や温泉水は使用しないでください。 ・入浴前に身体をよく洗ってから入浴してください。 ・身体に付いた石けんやシャンプーなどはよく洗い流してから入浴してください。
きつ水線に沿って汚れが付いている	・浴水中の目に見えない汚れなどが付着したものです。スポンジで拭き取ってください。 → きつ水線の汚れを拭き取ったスポンジは水道水の流水で洗ってください。浴水中ですすぎ洗いすると、きつ水線の汚れとして再付着します。
循環が悪くなった	・トップフィルターを洗浄または交換してください。 ・ろ過フィルターを交換してください。 ・本体の配管洗浄を行ってください。
本機が正しく動作しない、いつもと違う表示がでるなど	本機がいつもの動きと違ったり、変わった表示をする場合は、一度漏電保護プラグをコンセントから抜き、再度差込んで様子を見てください。 <手順> ①運転スイッチを少し長押しして運転を停止させる（操作部の表示が消灯します）。 ②漏電保護プラグを抜く。 ③1分間以上待つ。 ④漏電保護プラグをコンセントに差し込んで運転スイッチを押して運転を開始させる。 ⚠ 注意 必ず運転を停止させてから漏電保護プラグを抜いてください。（運転させたままプラグを抜くとプラグの先から火花が出て危険です）
設定温度まで浴水温度が上がらない	・保温OFFを解除してください。 ・浴槽にふたをして保温してください。 ・加温または保温しない場合はヒーターの故障です。販売店にご連絡ください。 ・入浴しないときは気泡水流を水流のみにしてください（p. 30）。 ・省エネ運転時間の設定時間が長すぎる。
浴水温度が設定温度より高くなる	・本機は循環ポンプの発熱を浴水保温の一部として利用する省エネ構造となっています。その為、浴室内の気温が高いとき、また保温性能の良いお風呂では設定温度よりも水温が高くなる場合があります（故障ではありません）。 ・浴水に水道水を足すなど、適温になってから入浴してください。
浴水の減りが早い	・浴槽の止水栓がゆるんでいる場合は、しっかり栓をしてください。 ・止水栓が傷んでいる場合は新品と交換してください。
清浄液ランプがゆっくり点滅している	浴水清浄液Fを本体のタンクに補給してください（p. 23）。

8. おかしいなと思ったら

症状	原因・処置方法
浴水清浄液Fが注入されない	・省エネランプがゆっくり点滅している場合は、自動注入が停止状態です。 → 一度運転を切り、再度運転を開始してから自動注入の再設定を行ってください（p. 24）。 ・自動注入を再設定しても初期注入が行われなときは、故障または浴水清浄液Fが通る配管が詰まっている可能性がありますので、販売店にご連絡ください。 ・清浄液ランプがゆっくり点滅しているときは本体の清浄液タンクに浴水清浄液Fを補給してください。
浴水清浄液Fの注入量が左右で違うときがある	故障ではありません。
浴水清浄液Fを本体に入れてから2か月が過ぎても、清浄液ランプが点灯または点滅しない	清浄液タンクの入り口から割り箸を入れ、割り箸がどの程度濡れるかで残量を確認してください。残量がないのに清浄液ランプが点灯または点滅しないときは、販売店にご連絡ください。
循環ポンプがよく停止する。またはポンプから異音がある。	販売店にご連絡ください。
エラーがよく表示されるようになった	販売店にご相談ください。
安心点検ランプが点灯または点滅している	長期間使用しているため、点検が必要です。販売店まで必ずご連絡ください。点検が完了したら表示ランプの解除を行います（有償）。

注意 スケール汚れについて

※使用期間が長くなると、浴水の汚れや水道水に含まれるミネラル分などが本体内部の部品や配管の内側に付着するスケール汚れが発生します。

※スケール汚れが多量に付着したまま使用し続けると、本体の異常や故障の原因になりますので、定期的に本体内部の配管洗浄を行ってください。

※スケール汚れが付着する頻度や分量は、ご利用状況や地域の水質に左右されます。

9. よくあるご質問（FAQ）

Q きっ水線より上がピンク色になる。ふろ蓋などにピンク色の塊が付くのですが？

- A 清浄液の成分が析出しているためです。人体に影響はありません。
入浴した際に、きっ水線より上やふろ蓋はスポンジ等で拭いてください。また浴水交換の際にお風呂用洗剤等で浴槽やふろ蓋を洗ってください。汚れが落ちにくい場合は、市販のお掃除用クエン酸水をスプレーすると汚れが落ちやすいのでお試しください。

Q トップフィルターの白い（薄いピンク色）汚れは何ですか？

- A 清浄液により浴水中の有機物などの成分が凝集したものです。トップフィルターは1日1回入浴後に洗って汚れや毛髪を取り除いてください。

Q 市販の入浴剤を使いたいのですが？

- A 申し訳ありませんが機器を運転してのご使用はお控えください。
市販の入浴剤に含まれる硫酸ナトリウムが浴水に含まれるミネラル成分と結合して硫酸カルシウムとなり、清浄液が凝集して配管にスケール状にこびりついてしまいます。この硫酸カルシウムのスケールは配管洗浄剤やクエン酸で洗っても取れず、ブラシなどで擦り落とすしかありません。
また、ろ過フィルターにこびり付いてろ過ができなくなってしまいますので、お使い頂けません。入浴剤を使用する場合は、本機の運転を停止した状態で使用し、使用後は浴水を入れ替えてください。

Q 24 時間風呂専用入浴剤「別府八湯」は使えますか？

- A 申し訳ありませんが機器を運転してのご使用はお控えください。
別府八湯には硫酸ナトリウムが含まれていないので清浄液でスケールになることはございませんが、清浄液の凝集効果により別府八湯の色素成分が浴槽に付着して、浴槽が赤くなってしまうと、ろ過フィルターが吸着した色素が再び浴槽に付着するなどして色素が取れるまで時間がかかってしまいます。

Q ろ過フィルターは市販のものを使ってもいいの？

- A 弊社のろ過フィルターを使用せずに故障が起こった場合は、有償修理とさせていただきます。

Q この機械は何人まで使用できますか？

- A 3～5人までです。人数が増えると浴水中の有機物が増えますので気になるようでしたら清浄液ボタンを押して、清浄液を追加投入してください。追加投入は1日1回まで可能です。

Q 浴水に泡が漂っている場合がありますが

- A 浴水清浄液 F の成分による泡ですが問題ございません。気になるようでしたらお湯をかき回してから入浴してください。

9. よくあるご質問（FAQ）

Q 清浄液ランプが点灯したのですが

- A 清浄液タンク内の清浄液 F の残量が約半分以下になると点灯します。ゆっくり点滅するときは補給をお知らせしていますので 300 mL の浴水清浄液 F を補給してください。
-

Q 省エネ運転はどのように使えばいいですか？

- A p. 26 をご覧ください。省エネ運転は、水の温まりにくく冷めにくいという性質を利用して、入浴しない時間帯にヒーターを切って省エネする機能です。浴室・浴槽の保温力にもよりますが概ね 1 時間で 1.5℃から 2℃上がることを想定しています。
-

10. 保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

保証書は販売店または設置工事業者から受け取っていただき「お買い上げ日」など、必要事項が記入されているかお確かめの上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から1年間です。

なお、ご依頼時には以下の内容をお知らせください。

■修理を依頼される時

「おかしいなと思ったら」に従って症状を調べていただき、なお異常がある場合はご使用を中止し、必ず漏電保護プラグを抜いてから販売店にご依頼ください。

■保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って販売店が無償で修理させていただきます。

なお、ご依頼時には以下の内容をお知らせください。

- ① ご氏名、ご住所、電話番号
- ② 製品機種名（品名）型式（本体右側面の定格銘板に表示）
- ③ 製造番号（保証書および本体側面に表示）
- ④ お買い上げ年月日
- ⑤ 保証書の有無
- ⑥ 故障、異常の内容（できるだけ詳しく）
- ⑦ ご訪問のご希望日

⚠ 注意

本体を発送して修理依頼されるときは、清浄液タンク内の浴水清浄液Fを全て取り出し（p. 36）、本体内部を十分に水抜きしてからビニール袋などに本体を入れ、輸送時の水漏れを考慮した包装を行ってから発送してください。

■保証期間中でも次の場合は有償修理になる場合があります。

- (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や分解、調整、改造による故障および損傷。
- (2) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガス）など、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障および損傷。
- (3) 取扱説明書や本体表示等で禁止を指摘した使用による故障や損傷。
- (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
- (5) 保証書に販売店名、印、お買い上げ日の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (6) 保証書の提示がない場合。
- (7) 一般家庭以外（例：業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
- (8) 振動の多い特別な場所等への設置による故障。
- (9) お客様の使用方法が原因による故障（例：お手入れ不足による循環ポンプの故障等）

■消耗部品について

消耗部品は保証対象外です。

■保証期間が過ぎているときは

ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切りから5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

ただし、補修用性能部品の在庫切れなどにより、表記の保有期間内であっても修理対応を終了させていただく場合がございます。

■お客様の個人情報について

お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無償修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。

■ご不明な点は

販売店にお問い合わせください。

11. 仕様

商品名	家庭用24時間風呂「LcF（エルシー・エフ）」
型式	CKL-200SF
本体設置場所	浴室内（浴槽コーナー設置専用）
本体外形寸法	高さ 350 mm×幅 310 mm×奥行き 226 mm（突起部分含まず）
ホース外径	入水用ホース φ24 mm、出水用ホース φ24 mm、エアホース φ9 mm
製品質量	約 7 kg（ろ過フィルターを除く）
定格電圧	AC 100 V
定格周波数	50/60 Hz
定格消費電力	850 W
ヒーター消費電力	750 W（加温時）、空焚き監視センサー、温度ヒューズ内臓
浄化システム	トップフィルター、ろ過フィルター、浴水清浄液F自動注入
対応入浴人数	3～5 人/日
対応浴槽容量	最大 300 L
消耗品（※1）	トップフィルター、ろ過フィルター、ろ過タンクふたパッキン、浴水清浄液F、洗浄タブレット
温度調節範囲	30℃、35～45℃（設定1℃毎）、OFF
安全装置	・循環ポンプ空運転防止機構（水流センサー） ・ヒーター空焚き防止機構（空焚き監視センサー、温度ヒューズ） ・漏電防止装置（漏電保護プラグ）定格感度電流6 mA ・過電流防止装置（管ヒューズ 15 A） ・転倒時安全装置（傾斜センサー）
電源コード	約 7 m
別売品	24時間風呂専用配管洗浄剤「ニュークリーン24」
製造元	コロナ工業株式会社 〒776-8555 徳島県吉野川市鴨島町上浦400-1 TEL：0883-24-1155 FAX：0883-24-8506

■製品仕様は品質改善のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

※1 消耗品のお買い求めや各種お問い合わせは、販売店までお問い合わせください。

長年ご使用の 24 時間風呂の点検を！

こんな症状は
ありませんか

- 本体操作部の安心点検お知らせランプが点灯または点滅している。
- 漏電保護プラグや電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体ケースなど各部が変形していたり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常がある。

ご使用
中止

事故防止のため、運転を停止させて漏電保護プラグをコンセントから抜き、販売店に点検・修理をご相談ください。

●使い方・お手入れ・修理・その他のご相談は販売店までご連絡ください。

設置日

年

月

日

製造番号

販売店名

住所・電話番号等

 **コロナ工業株式会社**

〒776-8555 徳島県吉野川市鴨島町上浦400-1